

## [資料]1819 年文政近江地震の全史料の表

石橋 克彦\*

Tables of All Historical Documents on the 1819 Bunsei Ohmi, central Japan, earthquake

Katsuhiko ISHIBASHI

2-28-26 Yokowo, Suma-ku, Kobe, 654-0131, Japan

The 1819 Bunsei Ohmi, Japan, earthquake of M more than 7 is particularly interesting and important from the viewpoint of long-term earthquake forecasting, strong ground motion evaluation, and earthquake disaster mitigation planning in central Japan, because it caused severe damage to a wide area and it is presumed to have been an intraslab earthquake within the subducted Philippine Sea plate beneath the Lake Biwa region. Therefore, various studies for clarifying the true nature of this event by using historical documents are necessary. However, so far collected and published historical documents on this earthquake are considerably huge amount and complicated, and it is not easy for seismologists to analyze them properly. In view of this situation, I examined all existing historical documents on the 1819 Bunsei Ohmi earthquake contained in eight books, and prepared a table of all documents and a table of all macroseismic records assorted by site, which is nearly 140 in number scattering from Edo (Tokyo) in the east to Hiroshima in the west.

Keywords: 1819 Bunsei Ohmi earthquake, Historical documents, Macroscopic record at each site.

### § 1. はじめに

文政二己卯(つちのとう, キボウ)年六月十二日(壬寅;みずのえとら, ジンイン)(1819 年 8 月 2 日)の未の下刻(ひつじのげこく)頃(15 時頃), 本州中部で大地震が発生した。これにより, 近江八幡周辺(滋賀県)や木曾三川の輪中地帯(岐阜・三重・愛知県)などで大災害が生じたほか, 名古屋・京阪奈を含む中部地方西部~近畿地方の広範囲で被害が発生した。宇佐美(2003)は琵琶湖東方の 136.3°E, 35.2°N に震央を推定し, M=7 $\frac{1}{4}$ と算定している。

この地震について筆者は, 余震がほとんどなかったことと震度分布の特徴にもとづいて, 上部地殻内地震ではなく, 琵琶湖の下あたりまで沈み込んだフィリピン海プレート内部で発生したスラブ内地震であろうと指摘した[石橋(1999)]. しかし宇佐美(2003)は震源の深さや地震のタイプには言及しておらず, 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2009)は, どの活断層に関係したものであったかは分かっていないとしている。

本地震が, 上部地殻地震発生層で起こった一般的な「内陸直下型」地震か比較的稀なスラブ内地震か, また前者であれば既知の活断層に対応するののか否かは, この地域の地震テクトニクス, 大地震長期予測, 強震動予測, 地震被害想定, 震災軽減対策策定にとって重要な問題である。そのためには, 更なる地震史料発掘とともに, 既存の史料を十分に活用した種々の実証的研究を進める必要がある。しかし, 公刊

されている本地震の史料はかなり膨大であり, 古い謄写印刷本では史料名すら判読困難なものがあった, 地震活動, 活断層, 強震動などの研究者が活用するのは必ずしも容易ではないように思われる。よって, まず史料の系統的な整理が必要であると考えた。

この地震に関する史料は, 既刊の地震史料集 8 冊に合計 252 点が収載されている。すなわち, 武者(1943)の『増訂大日本地震史料・第三巻』に 41 点, 東京大学地震研究所(1984, 1989, 1993)の『新収日本地震史料・第四巻, 補遺, 続補遺』にそれぞれ 92 点, 31 点, 34 点, 宇佐美(1998, 2002, 2005, 2008)の『「日本の歴史地震史料」拾遺, 拾遺二, 拾遺三, 拾遺四ノ上』にそれぞれ 20 点, 17 点, 5 点, 12 点である。

伊藤・他(1986)は, これらのうち, 1984 年までの公刊史料を詳しく分析した。また, 宇佐美・大和探査技術(株)(1994a,b)は, 1993 年までの公刊史料を用いて被害一覧表と震度分布図を作成している。それらは貴重な資料となっているが, 史料整理として見たとき, それぞれの時点においても必ずしも完全ではないし, 見過ごせない誤りも含んでいる。しかも, これらの仕事以降, 約 50 点の新史料が追加された。さらに, 史料集自体に不備や誤りもある。

そこで本報では, 今後の研究の基礎データを整備するという意味で, 既存のすべての地震史料を表の形に整理することにした。ただし今回は, できる範囲で史料原典を閲覧したが, 網羅的な史料校訂までは

\* 〒654-0131 神戸市須磨区横尾 2-28-26  
電子メール: ishi!kobe-u.ac.jp

意図していない。また、本報告はあくまでも史料とその内容の整理であるので、各地点の震度の判定等はおこなっていない。それを含めて、本報の表を用いた筆者自身の本地震についての検討は、稿を改めて論じたい。

## §2. 史料リスト

まず、全地震史料(タイトル)の表を作成した(表1)。これは、8冊の地震史料集の古い順に、それぞれの掲載順に全タイトルを並べたものである。各タイトルには表1のような番号を付けた。

地震史料集では、明治時代以降の出版物(地方自治体史など)を史料名(タイトル)として掲げていることが多いが、それらが江戸時代の史料の原文を掲載している場合には、そのタイトルを史料名とした。したがって、例えばある市史が2点の近世史料を掲載していると、タイトルは2件現われることになる。ただし、近世史料の原文がない場合には近現代の出版物名を史料名とした。前節で述べた史料集ごとの史料点数はこのようにして数えたもので、表1に対応している。なお、既刊地震史料集に未収録の史料2点を追加した。

武者(1943)は戦時中の手書きの謄写印刷だから読みにくく、しかも画数の多い旧漢字を使っているので潰れて史料名も判読困難なものが少なくない。そのためもあってか、後続の地震史料集が同じ史料を注釈抜きで再掲している場合がある。最近の史料集の間でも二重掲載がいくつかある。また、Sh6はかなり長い史料だが、明らかに嘉永七年六月十五日(1854年7月9日)の伊賀上野地震のものである。一方Sz34は、文政二年七月十八日の「新発見の地震」とされているが、ほかには同日の地震記録は知られておらず、記事の内容からみて六月十二日地震と混同した誤記である可能性が高い。よって、本地震の史料として表1に入れた。以上のことから、本地震についての独立の史料(タイトル)は、本報の段階では242点となる。

今後の史料本文の再調査等の便宜のために、史料集に記されている書誌情報を、各巻末の[出典]に書かれている分も含めて、すべて示した。さらに、一つひとつの史料について、まだ甚だ不十分ではあるが、ある程度の調査をして解題的なことや参考情報を「本報の注釈」欄に記載した。

次に、各史料の記事を地点ごとに分類し、全国の地点別の地震記事の表(表2)を作るのだが、表1の第5列に、史料ごとに、表2に掲載した地点を示した。この際、史料がある地点に言及していても、それが漠然とした記述で、もっと具体的な地震記事が他に存在する場合には、漠然とした記述(例えば、「十二日未刻京都大地震」など)は採用しない。また、地元の共時史料の記載と大きく異なる伝聞情報も、(江戸時代後期の災害情報の伝搬の研究などには有意なデー

タとなる場合もあろうが)史料地震学の立場から不採用とした。ただし、ある地点についてこのような記事が1件しか存在しない場合には、それを表2に掲載した。なお、御普請(幕府管轄の、河川堤防被害の復旧工事)や地震見舞・御機嫌伺などに関する人事の記事も採用しなかった。以上の状況は、表1の第5列に【】で説明した。

地震記事中の地名の同定には、基本的に、知識探索サイト「ジャパンナレッジ」(<http://www.japanknowledge.com/top/freedisplay>)の『日本歴史地名大系/平凡社』と木村(1975)の『旧高旧領取調帳 近畿編』を用いたが、伊藤・他(1986)も参考にした。

## §3. 地震記事の表

表2が、地点ごとの地震動の様子と被害状況などの表である。共時史料の場合には地震当日の天候と地震動が発した時刻も掲載した。なるべく史料本文のまま掲げたいと考えたが、スペースや読み易さの程度の問題があり、意識や要約とした場合もある。旧字や片仮名を適宜新字と平仮名に変えたり、句読点を追加したりもした。

配列は府県単位で、滋賀県、三重県、岐阜県、愛知県、京都府、奈良県、大阪府、和歌山県、福井県、兵庫県、石川県・富山県、長野県以東、兵庫県より西の順とした。それぞれの府県内では概ね震央に近い所から並べた。したがって全体として見ると、震央距離の順からは著しく異なっている。地点の数は、滋賀県の37を筆頭に、東は江戸・坂戸から西は広島まで、合計133である(郡などは数えていない)。

同一地点について史料の数が多き場合には、1件にまとめずに史料ごとに別々にした(表1に出てくる順に並べた)。京都は特に、また名古屋・奈良・大坂などもある程度、市中の細かい場所ごとの揺れ方の違いを考察できそうなくらい地震記事が多いが、「地点」欄で細分はしなかった。ただし、寺社等には「現在地名」欄にある程度詳細な町名や番地を与えている。なお、いわゆる「平成の大合併」(2005年前後の約10年間に自治体広域化のために政府主導で実施された市町村合併)によって多くの歴史的町村名が失われ、市名だけでは場所の見当がつかないことがあるので、「現在地名」欄の括弧内に旧地名を付記した。

「地震動の様子」には興味深い記事が少なくないので、なるべく原文のまま、内容の範囲を少し広げて収載した。また、本地震の余震活動の有無は非常に重要な問題なので[伊藤・他(1986)、石橋(1999)]、本震当日から少し離れた日の地震記事も「地震動の様子」欄に入れた。

内容豊富な長文の史料『世直双紙』と『文化秘筆』は、武者(1943)に収録されているので読みにくい。しかも前者の原本は興味深い挿画を多く含むのだが、武者(1943)が注記しているように全部省かれている。

しかし、幸いなことに、前者は飼沼(2009)が影印・翻刻を自費出版しており(非売品だが古書市場にあり、国立国会・愛知県立・名古屋市立の各図書館は架蔵)、後者は刊本に翻刻されている[安藤(1976)]. 今回はこれらを閲覧した。

#### §4. おわりに

本報告の目的は、1819年文政近江地震の今後の研究のための基礎資料の一つとして表1と表2を提供することなので、議論や結論はとくにない。しかし、史料を整理する過程で気が付いたことを二、三付記しておく。

宇佐美・大和探査技術(株)(1994a)はS51『郡山町史』によって、大和郡山の被害を「家潰34、半潰115」などとまとめ、宇佐美(2003)もこの数字を記載している。それが事実ならば、やや異常震域的で注目すべきことである。しかし、Ua7(郡山藩主・松平甲斐守(柳沢保泰)が幕府に出した地震被害届)によれば、この数字は近江国の郡山藩領の被害の合計の一端であることが明らかである。

伊藤・他(1986)はM40『東藩史稿』の「江州地震我采邑蒲生郡壊家数十、死者十余人アリ」という記事を問題にした。彼らは、采邑(知行所)を蒲生郡に持っていた藩はすぐには見当たらないが「東藩」は三上藩とみてよかろうとして、最大の被害地八幡に匹敵する死者数に注目した。しかし、『東藩史稿』は仙台藩の歴史書であり、『寛文印知集(寛文朱印留)』(寛文四・五年(1664,65)に江戸幕府が発給した朱印状・領知目録を集録したもの)によって同藩が蒲生郡に18村を領有したことがわかる。この領地は幕末まで変わっていないようである。したがって、M40は仙台藩領の蒲生郡で死者10人以上が出たことを記していることになる。今回、Sz33でこのことが確認され、さらに少し調べたところ、本堂庫裏が大破した東漸寺が所在する旧林村(旧八幡町南隣)が仙台藩領であり、東漸寺は伊達家の菩提所だったことがわかった。

仙台藩領に関してこれ以上のことは調べていないが、同じ蒲生郡に6村を領有する宮津藩が「人馬怪我なし」と幕府に届けているなど、死傷者の具体的記録が意外に少ないこととどのように関係するのか、更に調査が必要だと思われる。

この問題に限らず、幕府領・旗本領・諸藩領が複雑に入り組んでいた近江国と木曾三川輪中地帯の被害の実情はまだ不明な点が多い。この地震と災害の重要性にかんがみ、地方史研究者と歴史地震研究者が共同して一層強力な調査を進めることが望まれる。

#### 謝辞

匿名の査読者と松浦律子編集出版委員長から貴

重なご助言を頂きました。記して感謝いたします。

対象地震：1819年文政近江の地震

#### 文献

- 安藤菊二(校訂), 1976, 文化秘筆, 未刊随筆百種第四卷(三田村鳶魚編, 中央公論社), 275-408.
- 石橋克彦, 1999, フィリピン海スラブ内で発生した1819(文政二)年近江地震, 地球惑星科学関連学会1999年合同大会予稿集, As-005.
- 伊藤英文・八木伸二郎・上田さち子, 1986, 文政二年近江地震, 大阪府立大学歴史研究, 第24号, 1-64.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会(編), 2009, 日本の地震活動—被害地震から見た地域別の特徴—第2版, 財団法人地震予知総合研究振興会地震調査研究センター, 496 pp.
- 飼沼幸男(翻刻・解説), 2009, 世直し草紙 文政二年(一八一九)地震(高力猿猴庵/画作), 47 pp.
- 木村 礎(校訂), 1975, 旧高旧領取調帳 近畿編, 近藤出版社, 484 pp.
- 武者金吉(編), 1943, 増訂大日本地震史料, 第三卷, 文部省震災予防評議会, 945 pp.(復刻版, 1976, 鳴鳳社)
- 東京大学地震研究所(編), 1984, 1989, 1993, 新収日本地震史料, 第四卷, 補遺, 続補遺, 870 pp., 1222 pp., 1043 pp.
- 宇佐美龍夫(編), 1998, 2002, 2005, 2008, 「日本の歴史地震史料」拾遺, 同拾遺二, 同拾遺三, 同拾遺四ノ上, 日本電気協会, 512pp., 583pp., 814pp., 1132pp.
- 宇佐美龍夫, 2003, 最新版日本地震被害総覧[416]-2001, 東京大学出版会, 605 pp.
- 宇佐美龍夫・大和探査技術(株), 1994a, わが国の歴史地震被害一覧表, (社)日本電気協会, 772 pp.
- 宇佐美龍夫・大和探査技術(株), 1994b, わが国の歴史地震の震度分布・等震度線図, (社)日本電気協会, 647 pp.

表1 1819年文政近江地震の地震史料

Table 1. List of historical documents on the 1819 Bunsei Ohmi earthquake.

| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup> | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>    | 本報の注釈   | 言及場所で表2に採用した所 <sup>4)</sup>   |
|------------------|-----------------------|-----------------------------|---|---|
| M1               | 實久卿記                  |                             | 権大納言・橋本実久の日記  | 京都  |
| M2               | 二條家番所日記               |                             |   | 【地震の具体的記事なし】  |
| M3               | 泰平年表                  |                             | 大野広城編、天保十二年(1841)刊、徳川將軍11代の年代記  | 【地震の具体的記事なし】  |
| M4               | 地震雜纂 五                |                             | 伊勢外宮(伊勢市山田)の権禰宜・足代弘訓(1784-1856)が1854年伊賀上野地震体験後に編纂                             | 山田(伊勢)、桑名在金曲(金廻村の誤り?)   |
| M5               | 文政日記                  |                             |   | 【美濃・伊勢の破損箇所の普請(土木工事)の任命と褒賞(老中水野出羽守による)】   |
| M6               | 本丸廻状留                 |                             |   | 【美濃・伊勢の破損箇所の普請に係わる老中水野出羽守よりの通達】   |
| M7               | 毛利山口家譜                |                             |   | 【美濃・伊勢の破損地の營繕助役の命があったこと】  |
| M8               | 吉川岩國家譜                |                             |   | 【美濃・伊勢の破損所の普請金上納の命があったこと】   |
| M9               | 慶弘紀聞                  |                             | 安田照矩著、文久元年(1861)刊、後水尾天皇以降の年代記、別名『十三朝紀聞』                                       | 【地震の概略のみで有意な具体的記事なし】  |
| M10              | 世直双紙                  | ○猿猴庵著                       | 尾張藩士・高力種信(猿猴庵)が、地震の約2ヵ月後に、名古屋市内の被害等の画と説明、他国の被災の伝聞などをまとめたもの。当時著名な貸本屋・大惣の商品。    | 名古屋、金廻、近江八幡、甘露村、大溝、山中村、伊庭、中山道宿並、小浜、敦賀【奈良・郡山・京・大坂・中国・西国は用いず】                                   |
| M11              | 文化秘筆                  |                             | 文化・文政期の世事巷談や嘘咄の書き留め。『未刊隨筆百種』第4巻(中央公論社、1976)所収                                 | 守山・蒲生郡・甲賀郡(滋賀県)、香取、金廻、江戸、桑名、犬山、神戸(鈴鹿市)、名古屋、立田輪中、水口、下田村、泉村、仁正寺【市橋氏領分(近江蒲生郡・野洲郡、河内交野郡)の被害は場所不明】 |
| M12              | 下大森最上家臣田中氏日記          |                             | 下大森村には旗本最上氏の陣屋があった  | 下大森村(東近江市)  |
| M13              | 櫻川村寺村角玄倫日記            |                             | 角玄倫は名医で寺村内の得照寺に墓碑があるという   | 寺村・伊庭村(東近江市)、大溝(高島市)【八幡は用いず】  |
| M14              | 八幡町内池儀三郎氏記録           |                             |   | 八幡(近江八幡)  |
| M15              | 高島郡誌                  | ○滋賀縣                        | 高島郡志は高島郡教育会編(1927)  | 海津東浜西浜、酒波村、今津、大溝  |
| M16              | 葉山村六地藏福生寺記録           |                             | 葉山村は明治以降の村名。福正寺が正しい   | 六地藏村(栗東市)、柑子袋村・針村(湖南市)  |
| M17              | 五個荘某氏記録               |                             |   | 五個荘・伊庭村(東近江市)   |
| M18              | 福堂萬歳鏡                 |                             |   | 福堂村(東近江市)   |
| M19              | 敦賀郡誌                  | ○福井縣                        |   | 【有意な情報なし】   |
| M20              | 石川縣史                  |                             |   | 【記事曖昧】  |
| M21              | 熊谷家年代記                | 近江東淺井郡                      |   | 【有意な情報なし】   |
| M22              | 猿著聞集                  | ○八島定岡著                      | 文政11年(1828)刊、当時の文人の逸話や怪奇談を集めた雑記。  | 香取(桑名市)   |
| M23              | 濃飛兩國通史                |                             | 濃飛兩國通史 上・下2冊 復刻版、阿部栄之助著 岐阜県教育会編、大衆書房、昭48・51                                   | 高須輪中(岐阜県海津市)  |
| M24              | 山澤金五郎氏編纂飛騨地震年表        | ○飛騨大野郡丹生川村大菅新家岩之助所蔵記録ニ拠ルト云フ |   | 【有意な情報なし】   |
| M25              | 清水沖一郎 大聖寺町地震年代記       |                             |   | 【有意な情報なし】   |
| M26              | 大垣市史                  |                             | 大垣市役所編、昭5(1930)、3冊  | 大垣市   |
| M27              | 四日市市史                 | ○四日市市教育会編                   |   | 【次項の導入】   |
| M28              | 印田久四郎元成日記             | 四日市市史 ○四日市市教育会編             | 印田久四郎は四日市の豪商(魚商)  | 四日市宿、亥子新田   |
| M29              | 奈良市史                  |                             |   | 【有意な情報なく、誤りあり】  |
| M30              | 校定年代記                 | ○紀伊                         | 1854年安政東南海地震を体験した熊野地方の人が『熊野年代記』を土台にして幕末期に作成したものと考えられる。『新宮市誌』(新宮市編纂・発行、1937)所収 | 【良質の『熊野年代記』熊野三山協議会本を用いる】  |
| M31              | 攝陽奇観                  | ○濱松歌國著                      | 天保4年(1833)成立。大坂周辺の地誌と出来事に関する隨筆  | 【有意な情報なし】   |
| M32              | 山田平松之丞氏記録             | ○近江愛智郡平松                    |   | 平松村・伊庭村(東近江市)   |
| M33              | 紙魚のやとり                | ○飛騨國高山                      | 高山二之町組頭で俳人の加藤步簾(ほししょう、貴雄、1743-1827)編の雑史、『蘭亭遺稿』(1926、1970)に収録                  | 高山【他所は不正確】  |
| M34              | 當家年代記                 | ○信濃國下伊那郡座光寺村北原家蔵            | 座光寺村の名主で国学者の北原稲雄(1825-81)著  | 座光寺村(飯田市)【他国の伝聞記事は用いず】  |
| M35              | 赤須上穂舊記録鈔              | ○長野縣上伊那郡                    | 村澤吟治郎編、上伊那史談會発行、昭14(1939)   | 赤須村・上穂村(駒ヶ根市)   |
| M36              | 梅颯日記                  | ○安藝廣島                       | 頼山陽の母・梅颯(静)の26歳から84歳まで(1785-1843)の日記  | 広島  |
| M37              | 續王代一覽後記               |                             |   | 【具体的記事なし】   |
| M38              | 横山氏日記                 | ○加賀金沢                       |   | 金沢  |
| M39              | 因府年表                  | ○因幡鳥取                       | 鳥取藩士・岡島正義著、安政年間成立。[活]因伯叢書、第5冊(名著出版、1972、復刻版)、鳥取県史、第7巻(鳥取県、1976)               | 鳥取  |

| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup> | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>   | 本報の注釈  | 言及場所を表2に採用した所 <sup>4)</sup>             |
|------------------|-----------------------|--|--|---|
| M40              | 東藩史稿                  |  | 紀伝体による仙台藩の歴史書。初代藩主朝宗から13代慶邦まで。作並清亮編纂。[活]宝文堂出版販売(1976, 復刻版) | 蒲生郡(滋賀県)                                |
| M41              | 大日本府縣志                |  | 河井庫太郎編, 1890序  | 【近代の編纂物で概括的かつ地名不正確】                     |
| S1               | 雑事記 五                 | 国立公文書館   | 当該記事は、美濃・伊勢両国の幕府領を支配する美濃郡代・松下内匠の幕府への届の写し                   | 笠松陣屋(岐阜県), 美濃・伊勢村々                      |
| S2               | 地震類纂                  | 東京国立博物館  | 国書総目録によれば「嘉永七写」  | 【ほぼM5を写したのか?】                           |
| S3               | 我衣                    | 「日本庶民生活史料集成 十五」<br>[S46.8.20 三一書房]                                       | 元水戸藩士で文人・町医者のか藤曳尾庵(えいびあん)編著の随筆                             | 江戸                                      |
| S4               | 江戸幕府日記                | [国立公文書館蔵]  |  | 【美濃・伊勢の破損箇所(土木工事)の褒賞(老中水野出羽守による)】       |
| S5               | 地震海溢考                 | [慶應義塾図書館]  | 1854年安政東海・南海地震の大坂の被害記録、本地震記事は「先代日記帳ニ控有之」として加筆              | 大坂, 点野村(寝屋川市), 淀城【奈良・勢州路・他は別の良質史料を用いる】  |
| S6               | 猿猴庵日記                 | ○名古屋「日本都市生活史料集成四」[名古屋叢書 十七]S37.5.30 名古屋市教育委員会「日本庶民生活史料集成 九」S44.9.15 三一書房 | 尾張藩士・高力種信の日記   | 尾張国栗原郡【M10と同内容の部分は用いず】                  |
| S7               | 尾張靈異記 二               | 「名古屋叢書 二五」[S40.11.1 名古屋市教育委員会]   |  | 【地震12年後の漠然とした記事のみ】                      |
| S8               | 青窓紀聞 一                | ○名古屋[名古屋市鶴舞中央図書館蔵 蓬左文庫蔵]   | 尾張藩陪臣で国学者の水野正信(1805-69)が書いた記録                              | 名古屋, 熱田社, 金畑村(岐阜県海津市), 多度村(桑名市)         |
| S9               | 葎の滴 涉獵雑抄四             | ○名古屋[名古屋市鶴舞中央図書館蔵]   | 尾張藩士・細野要齋(1811-78)。[活]名古屋叢書。                               | 【「[猿猴庵日記]とほぼ同文につき省略」との注記あり】             |
| S10              | 御用留                   | ○名古屋/大宝家文書[名古屋市立博物館蔵]  |  | 海東郡と海西郡の間(尾張)                           |
| S11              | 御城使寄合留帳               | ○彦根/井伊家蔵[井伊直愛蔵]  |  | 彦根城                                     |
| S12              | 地震御普請諸入用勘定帳           | ○濃州山田村[国文学研究資料館史料館蔵]   |  | 山田村・小屋名村(岐阜県関市)(工事費用の記録で被害記事はなし)        |
| S13              | 地震御普請御入用出来形帳          | ○濃州山田村[国文学研究資料館史料館蔵]   |  | 山田村・小屋名村(岐阜県関市)(工事の記録で被害記事なし)           |
| S14              | 市田家日記                 | ○近江八幡[滋賀大学経済学部附属史料館]   |  | 八幡【他国の風聞は漠然】                            |
| S15              | 大地震ニ付御救米被下候分漬家之分      | ○近江八幡/滋賀大学経済学部附属図書館・市田家文書  |  | 八幡【他国の記事は漠然なので用いず】                      |
| S16              | 八幡町史 中                | ○滋賀県[滋賀県近江八幡市役所 S44.9.15 清水堂出版]  |  | 【一次史料を用いる】                              |
| S17              | 立木記録 安永万覚帳            |  |  | 近江八幡                                    |
| S18              | 森記録 書留四               |  |  | 近江八幡, 大溝                                |
| S19              | 森日記 四八                |  |  | 【Sz22の極く一部】                             |
| S20              | 西川記録 万永代覚帳            |  |  | 近江八幡, 甘露寺村                              |
| S21              | 東漸寺文書                 |  |  | 東漸寺(近江八幡市)                              |
| S22              | 東浅井郡志 三               | [○滋賀県 S46.10.27 名著出版(復刻版)]   |  | 【概括的で有意な情報なし】                           |
| S23              | 桑名市史 補篇               | [近藤奎・西岡潤辺 S35.8.31 桑名市教育委員会]   |  | 【具体的記述なし, 七月十八日の地震記事はSz34が先行するが, それは疑問】 |
| S24              | 長島町誌                  | [○三重県 伊藤重信著 S49.11.3 長島町教育委員会]   |  | 【史料の裏付けなし】                              |
| S25              | 木曾岬村誌                 | ○三重県[木曾岬村史編纂委員会 S44.11.3 木曾岬村役場]   |  | 木曾岬町                                    |
| S26              | 亀山地方郷土史               | [山田水著 S45~49 三重県郷土資料刊行会]   |  | 【概括的で有意な情報なし】                           |
| S27              | 多度町史                  | ○三重県[饗庭義門編 S38.10.15 多度町教育委員会]   |  | 香取村【別に一次史料のある地点・記述は用いず】                 |
| S28              | 鈴鹿郡野史                 | [柴田厚二郎編 S2.1.15 柴田厚二郎]   |  | 【概括的で有意な情報なし】                           |
| S29              | 津市史 II                | [梅原三千・西田重嗣 S35.11.1 津市役所]  |  | 津城下                                     |
| S30              | 松阪市史                  | [松阪市史編さん委員会編著 S52.12.10 松阪市]   |  | 【書名のみで記事なし】                             |
| S31              | 小野田孝徴日記               | ○松阪  | 小野田家四代・孝徴浄光の日記?  | 松阪                                      |
| S32              | 朝日町誌                  | ○三重県[栗田秀夫編 S49.10.17 朝日町]  |  | 【七月十八日の地震記事; Sz34が先行するが, それは疑問】         |
| S33              | 外宮子良館日記               | ○伊勢[神宮文庫蔵 都司嘉宣提供]  |  | 山田(伊勢市)                                 |
| S34              | 東大曾根町誌                | ○愛知県[斉藤俊之助編 S16.2.11 東大曾根町誌刊行会]  |  | 【「強震」とあるのみ】                             |
| S35              | 御祐筆部屋日記               | ○田原[○愛知県 田原藩 田原町教育委員会蔵]  |  | 田原(愛知県)                                 |
| S36              | 朝齋卿日記                 | 神宮文庫   |  | 山田(伊勢市)                                 |
| S37              | 文政在京勤方日記 元二三          | 神宮文庫   |  | 【御祈御祓献上のことだけで地震記事なし】                    |
| S38              | 旧大宮司日記                | 神宮文庫   |  | 【地震そのものに関する記事なし】                        |
| S39              | 朝齋卿日記                 | 神宮文庫   |  | 【「[旧大宮司日記]と同内容につき省略」との注記あり】             |
| S40              | 序事類編                  | ○伊賀上野[上野市古文献刊行会 S52.4.15 上野市]  | 津藩の伊賀上野城代家老・藤堂家の宝永六~慶応四年(1709-1868)の日録                     | 伊賀上野, 大坂                                |
| S41              | 熊野年代記                 | 『紀州変異災害誌』[宇井縫蔵編 S18 (謄写印刷)]所収  |  | 【良質の『熊野年代記』熊野三山協議会本を用いる】                |
| S42              | 三綱所日記                 | 東大寺図書館・薬師院文庫   | 薬師院は東大寺執行職を相承した子院で三綱所日記・他を伝える                              | 奈良【八幡は現地史料を用いる】                         |
| S43              | 御用向日記                 | ○奈良/一乗院[京都大学文学部資料館蔵]   | 一乗院は近鉄奈良駅近くにあった門跡寺院, 興福寺の塔頭の一つ                             | 奈良                                      |
| S44              | 地震破損所取調上申書控           | ○奈良/天理図書館・保井文庫   | 中筋町年寄・弥七が役人に届けた控(中筋町は近鉄奈良駅の北側)                             | 奈良・中筋町                                  |
| S45              | 奈良市史                  | [奈良市役所 S12.2.10 奈良市役所]   |  | 【M29の再掲】                                |

| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup> | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>                                   | 本報の注釈  | 言及場所で表2に採用した所 <sup>4)</sup>             |
|------------------|-----------------------|--|--|---|
| S46              | 奈良井上町年代記              | [高田十郎篇 S18.4.15 桑名文星堂]                                     | 井上町は現在奈良市井上町   | 奈良町                                     |
| S47              | 万大帳                   | ○奈良市東向北町「日本都市生活史料集成 九」[誤植を訂正][S52.4.25 学習研究社]              | 正保2～明治16年(1645-1883)に東向北町(ひがしむきたまち)の町役人らが書継いだ記録、当該部分は奈良町惣年寄の指示に応じた被害届、同町は近鉄奈良駅の北東側 |   |
| S48              | 荒蒔村宮座中間年代記            | [「天理市史 史料編」/天理市史編纂委員会 S52.3.30 天理市役所]                      | 天正元～天保6年(1573-1835)の村内外の事情を記す、荒蒔区有文書   | 荒蒔村(天理市)、奈良                             |
| S49              | 藤井村記録                 | [○奈良県大宇陀町「菟田野町史」]  |  | 藤井村(宇陀市)【他所については漠然】                     |
| S50              | 椿温泉郷                  | [○和歌山県 椿郷土史編纂委員会 S40.11.6 白浜町椿社団法人共済組合]                    |  | 【本地震の記事ではないのではないのか?】                    |
| S51              | 郡山町史                  | [○奈良県 森田義一 S28.2.28 奈良県郡山町]                                |  | 【Ua7に照らすと記事は誤り】                         |
| S52              | 質屋年寄森岡五郎兵衛 天明元年ヨリノ年代記 | 天災地妖 ○奈良/藤田文庫[藤田祥光 著 奈良県立奈良図書館蔵]                           | 森岡五郎兵衛は奈良質屋会所の年寄   | 奈良町                                     |
| S53              | 安政二卯十一月 私記            | (中林右衛門藤原□□) ○奈良[奈良県立図書館蔵]                                  |  | 奈良町                                     |
| S54              | 菟田野町史                 | ○奈良県宇陀郡[菟田野町史編纂委員会 S43.10.10 菟田野町役場]                       |  | 【『藤井村記録』の引用のみ】                          |
| S55              | 下鴨社家日記                | 鴨脚家文書 ○京都[京都市史編さん所収集史料 京都市史編さん所提供]                         |  | 【欠字多く正確に読めない】                           |
| S56              | 大島武幸日記                | 大島家文書 ○京都[京都市史編さん所収集史料 京都市史編さん所提供]                         |  | 京都                                      |
| S57              | 雑事日記                  | ○京都[陽明文庫]  |  | 京都                                      |
| S58              | 永書                    | [三井文庫]   | 伊藤・他(1986)は京都の記録としているが、大坂だろう   | 大坂、奈良、伊勢路【近江八幡は用いない】                    |
| S59              | 聞書 一四五                | 三井文庫   |  | 大坂、奈良【近江・美濃は用いない】                       |
| S60              | 伊丹氏日記                 | ○京都[京都大学文学部資料館蔵]   |  | 京都                                      |
| S61              | 中西家日記 三               | ○京都[京都大学文学部資料館蔵]   |  | 京都、琵琶湖                                  |
| S62              | 日記                    | ○京都[山本家文書[京都市史編さん所収集史料 京都市史編さん所提供]                         |  | 【地震があったことのみ】                            |
| S63              | 醍醐日記                  | ○京都[大溪家文書[京都市史編さん所収集史料 京都市史編さん所提供]                         |  | 【地震があったことのみ】                            |
| S64              | 松尾神社日記                | ○京都[松尾神社文書[京都市史編さん所収集史料 京都市史編さん所提供]                        |  | 京都・松尾神社                                 |
| S65              | 速見家日記                 | ○京都[京都府立総合資料館蔵]  |  | 京都                                      |
| S66              | 観音寺日譜 泰平年表            | 大山崎史叢考 ○京都府乙訓郡大山崎町[吉川一郎著 S28.9.20 創元社]                     |  | 【簡単な概括的記事のみ】                            |
| S67              | 稲東家日記                 | 池田市史 史料篇四[池田市史編纂委員会編 S55.3.31 池田市役所]                       | 商家の稲東家住宅は池田市綾羽1丁目に登録有形文化財として現存   | 池田、尼ヶ崎、地黄陣屋、篠山                          |
| S68              | 伊居太神社日記               | ○池田市[「池田市史 史料篇 二」/池田市史編纂委員会編 S43.3.31 池田市役所]               | 伊居太神社は市内綾羽2丁目  | 池田                                      |
| S69              | 反古籠                   | 大阪編年史十六[大阪府立中央図書館市史編纂委員会 S47.9.3 大阪府立中央図書館]                |  | 大坂                                      |
| S70              | 村方願書控                 | (喜里田【川か?】町・中西家文書)枚岡市史四史料編二[枚岡市史編纂委員会 S41.10.10 枚岡市役所]      |  | 切川村・客坊村(東大阪市)                           |
| S71              | 高山市史 下                | [高山市 S28.3.31]   |  | 【M33の記述を誤記している】                         |
| S72              | 垂井町史                  | ○岐阜県不破郡[垂井町史編さん委員会 S44.11.23 垂井町役場]                        |  | 【具体的記述なし】                               |
| S73              | 不破郡誌                  | ○岐阜県[不破郡教育会 S2.4.15]                                       |  | 【具体性と実証性なし】                             |
| S74              | 羽島市史 二                | ○岐阜県[羽島市史編さん委員会 S41.10.1 羽島市役所]                            |  | 堀津村・須賀村(羽島市)                            |
| S75              | 白川村史 全                | ○岐阜県[S43.11.27 白川村]  |  | 【有意な情報なし】                               |
| S76              | 養老郡誌                  | ○岐阜県[門脇黙一 T14.5.25 岐阜県地方改良協会養老郡支会]                         |  | 打上村(大垣市)                                |
| S77              | 元禄以降記録抄               | ○岐阜県養老郡蛇持  |  | 蛇持村(岐阜県養老町)、ただし同村は尾張藩領なので、藩域全般のことかもしれない |
| S78              | 上石津町史・史料              | ○岐阜県「谷畑区有文書・災害覚書」[上石津町 S50.3.31]                           | 上石津町は現在大垣市西部で滋賀県に隣接  | 【大地震があったことのみ(年を誤記)】                     |
| S79              | 悲願寺元隆日記               | ○岐阜県白鳥町[白鳥町郷土芸能センター蔵]                                      | 悲願寺(旧白鳥町歩岐島 しろとりちようほきじま)の過去帳兼日記  | 歩岐島村(岐阜県郡上市白鳥町)                         |
| S80              | 鶴村日記                  | ○金沢[S51～53 石川県図書館協会]                                       | 加賀藩の儒者・金子鶴村の文化4～天保9年(1807-38)の日録   | 金沢、京都、鯖江、富山、江戸、伊勢神宮辺【近江・尾張の伝聞記事は用いず】    |
| S81              | 東門日乗                  | ○兵庫県出石町[出石町教育委員会蔵]   |  | 出石                                      |
| S82              | 鳥居家日記【鳥井は誤植?】         | ○豊岡[兵庫県史編纂室提供]   |  | 豊岡                                      |
| S83              | 歳の当条目                 | ○兵庫県加西市吉野町[「近世史料 加西吉野文書」S55.11.1 加西市教育委員会編・発行]             |  | 【日時誤り、特段の有意な記事なし】                       |
| S84              | 高野家家譜                 | ○三重県神戸十門市町[高野彰作蔵、鈴鹿市史編纂室提供]                                | 神戸十門市町は現在の鈴鹿市神戸(すずかしかんべ)二丁目  | 神戸(鈴鹿市)【他国の漠然記事は不採用】                    |
| S85              | 篤山日記                  | ○伊予小松[伊予史談会提供]   | 小松藩の藩校養正館の儒官・近藤篤山の日記   | 小松(愛媛県西条市)                              |
| S86              | 小松市史                  | [○石川県 川良雄編 S25.5.15 小松市教育委員会]                              |  | 小松(石川県)                                 |
| S87              | 野尻村史料                 | ○富山県[砺波郡野尻村役場 S4.12.20 砺波郡野尻村役場]                           |  |   |
| S88              | 正得村史料                 | 福光町史 上 ○富山県西砺波郡[福光町史編纂委員会 S46.8.20 西砺波郡福光町]                |  | 正得村(富山県小矢部市)                            |
| S89              | 坂田家御用日記               | ○甲府[山梨県立図書館蔵]  | 坂田家は代々甲府の町年寄   | 甲府                                      |
| S90              | 墨翁日記                  | 飯田地方の地震と防災一[S53.6 飯田県上郷消防組合]                               | 平栗墨翁は飯田城下近郊の島田村(現飯田市松尾)の庄屋で国学者   | 飯田                                      |
| S91              | 榊原藩日記(江戸)             | [上越市立高田図書館蔵]   |  | 江戸                                      |
| S92              | 燈袋                    | ○高知[楠瀬大枝著「燈袋 一～十一」/土佐群書集成 七、...四五 S41.10～S53.10 高知市立市民図書館] | 楠瀬大枝は土佐藩士  | 高知                                      |
| Sh1              | 柳営日次記                 | [国立公文書館蔵]  |  | 【美濃・伊勢の破損箇所への普請(土木工事)の褒賞など】             |

| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup>             | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>                               | 本報の注釈   | 言及場所で表2に採用した所 <sup>4)</sup>             |
|------------------|-----------------------------------|--|---|---|
| Sh2              | 文政三辰六月より濃州勢州地震ニ而破損所御普請御用被蒙仰候一件御用留 | 岩国徴古館  |   | 【岩国藩主・吉川監物が美濃・伊勢の破損所の御普請御用を命ぜられた件の交渉記録】 |
| Sh3              | 林家日記(家内日記帳)                       | ○埼玉県坂戸市赤尾[埼玉県立文書館蔵]                                    |   | 坂戸                                      |
| Sh4              | 肝煎日記                              | 西川一郎家文書 石川県立図書館  | 西川家は代々刈安村の肝煎を勤めた。西川家文書は石川県立図書館には無いという。                    | 刈安村(石川県河北郡津幡町)                          |
| Sh5              | 御書留抜萃                             | ○石川県/長家文書 穴水歴史民俗資料館                                    | 長(ちょう)氏は能登の出だが加賀藩重臣八家の一つで金沢在住                             | 金沢                                      |
| Sh6              | 阿岸本誓寺文書 あぎしほんせいじもんじよ              | 能登阿岸   | 輪島市門前町の阿岸本誓寺が所蔵する膨大な古文書                                   | 【嘉永七年六月十五日の伊賀上野地震の記事である】                |
| Sh7              | 文曆三                               | ○福井県小浜/山岸惟誠記 小浜市立図書館                                   |   | 小浜                                      |
| Sh8              | 諸事覚日記(古河嘉雄家文書)                    | 小浜市史 諸家文書編二 S55.6.30 小浜市史編纂委員会/小浜市役所                   | 古河家は小浜長町で廻船問屋・藩米手形会所頭取等として栄えた                             | 小浜【他国の伝聞記事は漠然・不正確】                      |
| Sh9              | 北原家日記(信維)                         | ○飯田市座光寺欠野  | M34の素材の一つと思われる  | 座光寺村(飯田市)                               |
| Sh10             | 小笠原正賢氏(家号籠平)文書                    | ○長野県下伊【那】郡阿智村中関  |   | 阿智村(長野県下伊那郡、武佐宿(近江)【八幡の伝聞は不採】           |
| Sh11             | 平田町史上                             | ○岐阜県/S39.12.1 森義一著 岐阜県海津郡平田町役場発行                       |   | 幡長村・野市場村・野寺村・者結村(岐阜県海津市平田町)             |
| Sh12             | 伊藤家日記                             | ○岐阜県恵那市東野/土方六須家文書(恵那市史 史料編 S51.3.10 恵那市史編さん委員会編 恵那市発行) |   | 東野村(恵那市)、膳所(大津市)【加納は特定できず、備前と高須は誤記だろう】  |
| Sh13             | 珍事留                               | ○岐阜県海津郡高須町/水谷定久家文書(海津町史 史料編二 S45.10.30/岐阜県海津郡海津町編・発行)  |   | 高須町、金廻村                                 |
| Sh14             | 定祥卿記 さだながきょうき                     | ○京都[東京大学史料編さん所蔵]                                       | 野宮(のみや)定祥(1800-58)の日記                                     | 京都【他国の伝聞は用いず】                           |
| Sh15             | (井上)淡水日記                          | ○京都[東北大学付属図書館蔵 狩野文庫]                                   |   | 京都【他国の伝聞は用いず】                           |
| Sh16             | 三条家御日記                            | ○京都/神宮文庫   |   | 京都【他国の伝聞は用いず】                           |
| Sh17             | 役所日記                              | 久世家文書 ○京都/国文学研究資料館国立史料館                                |   | 京都                                      |
| Sh18             | 浜島家日記                             | ○京都[内膳司高橋家 学習院大学史料館蔵]                                  |   | 京都                                      |
| Sh19             | 相尹日記 すけただにっき                      | 松尾家累代日記 ○京都[東松山市 松尾剛蔵]                                 |   | 京都                                      |
| Sh20             | 実典卿記 さねのりきょうき                     | ○京都[東京大学史料編さん所蔵]                                       | 阿野(あ)実典(1798-1838)の日記                                     | 京都                                      |
| Sh21             | 定静朝臣記 さだきよあそんき                    | ○京都[東京大学史料編さん所蔵]                                       | 野宮(のみや)定静(1781-1821)の日記                                   | 京都                                      |
| Sh22             | 知客寮須知                             | ○京都府宇治/万福寺文書[宇治市歴史資料館提供]                               |   | 【地震見舞に行ったことのみ】                          |
| Sh23             | 年々諸用留 十二番                         | ○京都/住友修史室  |   | 京都、大溝                                   |
| Sh24             | 宮津歳仲日記                            | ○京都府宮津市/舞鶴市立西図書館                                       |   | 宮津【他国の記事は用いず】                           |
| Sh25             | 延宝凶荒記                             | ○京都府舞鶴市天田内/林田家文書 舞鶴市立西図書館                              | 天田内は舞鶴市にはなく、福知山市大江町天田内である。                                | 【言及場所不詳】                                |
| Sh26             | 則留記                               | ○大阪府津田村(現枚方市)/三宅寛家文書                                   |   | 津田村(大阪府枚方市)                             |
| Sh27             | 御休所日記                             | (酒井家史料 日記) ○姫路/姫路市史編集室                                 |   | 姫路                                      |
| Sh28             | 上田家文書                             | ○橿原市上品寺町/上田清治家文書                                       |   | 上品寺村(奈良県橿原市)                            |
| Sh29             | 村上家乗                              | ○広島[広島大学文学部蔵]  | 広島藩家老・東城浅野家に仕えた村上家の三代約100年間の日記                            | 広島                                      |
| Sh30             | 今中家(大学)日記                         | ○広島  |   | 広島                                      |
| Sh31             | 会所日記                              | ○愛媛県小松/小松藩[小松町公民館]                                     | 伊予小松藩で150年以上書き継がれてきた日記                                    | 小松(愛媛県西条市)                              |
| Sz1              | 御留守日記                             | ○京都[仙石家文書 出石町立史料館]                                     | 「○京都」は誤り。出石藩の藩日記で、藩主在邑の時には「御在城日記」、江戸参勤の時には「御留守日記」という表題をもつ | 出石(兵庫県)                                 |
| Sz2              | 下御霊神社家日記                          | ○京都[下御霊神社蔵]  | 下御霊神社は、京都市中京区寺町通丸太町下ル下御霊前町                                | 京都                                      |
| Sz3              | 杉浦家日記                             | ○京都[京都府立総合資料館蔵]  | 京都の呉服店・大黒屋杉浦家の日記  | 京都                                      |
| Sz4              | 正親町家役所日記 三                        | ○京都[東京大学史料編さん所蔵]                                       |   | 京都                                      |
| Sz5              | 西原利兵衛年代記                          | 京都府立丹後郷土史料館  | 西原利兵衛は幕末に算所村の庄屋を勤め、明治前期には地価修正運動に尽力した。同時代史料ではないかもしれない。     | 算所村(京都府与謝野町)?(一般的記述に過ぎないかもしれない)         |
| Sz6              | 暮歳日記                              | 岡敬安遺書 ○大阪  |   | 大坂                                      |
| Sz7              | 覚帳                                | 抗全神社文書 ○大阪/抗全神社  |   | 平野郷町(大阪市平野区)                            |
| Sz8              | 帳場日鑑                              | ○江戸/増上寺[増上寺蔵]  | 増上寺は浄土宗大本山、総本山・知恩院(京都)の下位                                 | 【知恩院からの、地震破損所普請に係わる書翰】                  |
| Sz9              | 花月日記 十八                           | ○江戸 松平定信筆 東京大学史料編さん所蔵                                  |   | 【概括的な伝聞記事のみ】                            |
| Sz10             | 田瀬村諸事留書帳                          | 福岡町史 史料編下巻 ○岐阜県恵那郡福岡町/S55.9.15 岐阜県恵那郡福岡町               |   | 田瀬村(岐阜県中津川市)                            |
| Sz11             | 年内諸事日記                            | 山岡町史 史料編 下巻 ○岐阜県恵那郡山岡町久保原                              |   | 久保原村(岐阜県恵那市)                            |
| Sz12             | 永代万控帳 抄                           | ○和歌山県粉河町北志野村(粉河町史 第三巻 S63.3.31 粉河町)                    |   | 北志野村(和歌山県紀の川市)                          |
| Sz13             | マキノ町誌                             | マキノ町誌編さん委員会/S62.1.30 マキノ町                              |   | 【M15の一部の再述、『願慶寺文書』の引用記事は誇大】             |
| Sz14             | 高島町史                              | S58.11.3 高島町役場   |   | 薬園村、大溝(滋賀県高島市)                          |
| Sz15             | 近江長濱町志 第二巻本編中                     | 中山泉三編/S63.11.10 臨川書店                                   |   | 【典拠の『累年日記』勘定控帳』がいかなる史料か確認できない】          |
| Sz16             | 新旭町誌                              | ○滋賀県 新旭町誌編さん委員会/S60.11.3 新旭町役場                         |   | 【有意な記事なし】                               |
| Sz17             | 五個荘某氏記録                           | 近江神埼郡志稿 全二冊(大橋金造編纂/S47.9.15 臨川書店)                      |   | 【M17の再掲】                                |
| Sz18             | 福堂 萬歳鏡                            | 近江神埼郡志稿 全二冊(大橋金造編纂/S47.9.15 臨川書店)                      |   | 【M18の再掲】                                |

| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup>     | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>                                      | 本報の注釈  | 言及場所で表2に採用した所 <sup>4)</sup>      |
|------------------|---------------------------|---|--|----------------------------------|
| Sz19             | 新修大津市史 4 近世後期             | S56.7.5 大津市役所   |  | 【概説でありSz27の引用】                   |
| Sz20             | 永照寺文書                     | ○安土町大字常楽寺(安土町史 資料篇I 安土町史編纂委員会編/S58.10.1 安土町教育委員会)             |  | 常楽寺村(近江八幡市)                      |
| Sz21             | 西性寺文書                     | ○安土町大字常楽寺(安土町史 資料篇I 安土町史編纂委員会編/S58.10.1 安土町教育委員会)             |  | 常楽寺村(近江八幡市)                      |
| Sz22             | 森家日記                      | ○近江八幡市新町二丁目「八幡町史史料写本」滋賀大学経済学部付属史料館                            |  | 近江八幡                             |
| Sz23             | 重要文化財旧西川家住宅(主屋・土蔵)修理工事報告書 | S63.6.30/滋賀県教育委員会文化財保護課編・発行                                   |  | 【近江八幡, 新町二丁目 西川家, 柱根継材墨書銘と地震見舞状】 |
| Sz24             | 文政二年 日用記                  | ○滋賀県竜王町/竜王町鏡区有文書 滋賀県立図書館                                      |  | 鏡村(滋賀県竜王町)                       |
| Sz25             | 大地震大変                     | 続古地震 萩原尊礼他著/H1.3.25 東京大学出版会(近江八幡市郷土資料館提供)                     |  | 近江八幡, 大溝【彦根・長浜は簡単な言及のみ】          |
| Sz26             | 大控                        | ○雄琴/那波加神社文書 大津市歴史博物館  |  | 【有意な記事なし】                        |
| Sz27             | 本堅田村諸色留帳                  | ○堅田/伊豆神社原蔵 本堅田共有文書 大津市歴史博物館                                   |  | 本堅田村(大津市本堅田)                     |
| Sz28             | 由利家公私之日記                  | ○豊岡[豊岡市史編纂室蔵]   |  | 豊岡                               |
| Sz29             | 六兵衛万覚書(年代記)               | ○平井村(現知多市)「知多市民俗資料館年報2」/S62.3.20 知多市教育委員会                     | 六兵衛は寺本四ヵ村の中の平井村ではなくて中嶋村の庄屋                   | 中嶋村(寺本四ヵ村のうち)(愛知県知多市)            |
| Sz30             | 下郷家分家喜多浦家日記               | ○愛知県鳴海町/関西大学総合図書館   | 喜多浦家は鳴海村(鳴海宿)で酒造業を営む下郷氏の分家                   | 鳴海村(名古屋市緑区)                      |
| Sz31             | 累世年鑑                      | [○福島県川俣町 福島県文化センター寄託]   | 町飯坂村の名主で商家だった渡辺家で書き継がれてきた商業日誌                | 【本地震の記事は地元のことではないと判断される】         |
| Sz32             | 宮城県史 22(災害)               | 宮城県史編纂委員会編/S37.12.30 (財)宮城県史刊行会                               |  | 【M40とSz33を再述したもの】                |
| Sz33             | 六代治家記録 正山公                | 仙台市立博物館   |  | 蒲生郡(滋賀県)                         |
| Sz34             | 治田村誌                      | ○三重県員弁郡/近藤幸編 S28.8.15 治田村公民館 小森太郎                             |  | 【七月十八日の大地震記事; 他には記録無く疑問】         |
| Ua1              | 浄土宗総本山知恩院日鑑               | ○京都[知恩院, 宝暦元・二・文政二・六]   |  | 京都・知恩院                           |
| Ua2              | 浄土宗総本山知恩院書翰               | ○京都   |  | 【Ua1に含まれる内容】                     |
| Ua3              | 御番所日記                     | (随心院記録 ○京都市山科区小野[京都府立総合史料館])                                  | 随心院は小野御霊町にある真言宗善通寺派大本山。                      | 京都(随心院内のことかどうか不明)                |
| Ua4              | 四宮祭礼牽山永代記                 | (文化十年～嘉永七年)(大津市歴史博物館研究紀要4 H8)                                 |  | 【具体的な新事実なし】                      |
| Ua5              | 豊山年中行事及雑録                 | ○奈良県長谷寺(続豊山全書 第十八巻 S48)                                       |  | 長谷寺(奈良県桜井市初瀬)                    |
| Ua6              | 年預所日記 文政二年                | (奈良六六寺大観 第六巻 薬師寺 全 奈良六六寺大観刊行会編/S45.8.15 岩波書店)                 |  | 薬師寺(奈良市西ノ京町)                     |
| Ua7              | 附記 文政二己卯年從七月至九月           | 大和郡山市柳沢文庫蔵(古地震探求 萩原尊禮編著/H7.7.20 東京大学出版会)                      |  | 【柳沢領の大和国と近江国の被害数があるが, 場所が特定できない】 |
| Ua8              | 天満天神滋岡家日記(文政二年)           | 大阪大学文学部蔵(古地震探求 萩原尊禮編著/H7.7.20 東京大学出版会)                        |  | 【有意な具体的記述なし】                     |
| Ua9              | 寛政十一年九月 神事式旧記             | 木津明家文書(木津町史 史料篇III 木津町史編さん委員会/S62.3.31 木津町発行)                 |  | 【本地震の記事かどうか不詳, 独自の事実なし】          |
| Ua10             | 地震にて土蔵等破損(文政二年六月十二日)      | (出石町史 第三巻 資料編 I 出石町史編集委員会編/S62.11.1 出石町発行)                    |  | 【Sz1に含まれている】                     |
| Ua11             | 宿帳                        | 小島忠行家文書(新修 石部町史 史料篇 ○滋賀県石部町「新修石部町史」編さん委員会/H2.3.31 石部町役場発行)    | 東海道・石部宿の小島氏本陣の記録。Ub3と同じもの? 僅かな相違は翻刻時に入ったものか? | 石部宿                              |
| Ua12             | ふるさと年史 押立郷を探る             | 西沢源治著/S59.11.3  |  | 【史料とはいえない, 新事実なく, 誤りあり】          |
| Ua13             | 高島町史                      | S58.11.3 高島町役場発行  |  | 【Sz14の再掲】                        |
| Ua14             | 妙楽寺史 妙楽寺と伊庭               | ○滋賀県伊庭村/藤薬性信著/S52.2.11 妙楽寺発行                                  |  | 伊庭村(滋賀県東近江市)                     |
| Ua15             | 近江国鏡村 玉尾家永代帳              | ○滋賀県竜王町/S63.5.31 東京大学出版会                                      | 玉尾家は文化十二年(1815)から鏡村の庄屋                       | 鏡村, 能登川村, 須恵村【八幡・大溝は新事実なし】       |
| Ua16             | 新宮市史 年表                   | 新宮市史史料編さん委員会/S61.3.10 新宮市                                     |  | 【二次的な記事】                         |
| Ua17             | 文政十三庚寅日記                  | (高見家文書 ○出雲市下古志町)  |  | 【本地震の記事ではないのか?】                  |
| Ua18             | 万日記                       | ○島根県大社町/手銭白三郎筆  |  | 大社町                              |
| Ua19             | 世用日記 二 附昔新聞書              | 高知県立図書館蔵  |  | 【不正確な伝聞, 高知で揺れを感じたかどうか不明】        |
| Ua20             | 猿著聞集                      | 八島定岡(鈴木春信?)著/文政十一年刊/日本随筆大成 第II期 20(日本随筆大成編輯部/S49.10.25 吉川弘文館) |  | 【M22の再掲】                         |
| Ub1              | 御用向並諸事留帳                  | ○安曇川町北船木 北船木区有文書7/滋賀県立図書館写真複製版                                |  | 北船木村(滋賀県高島市)【他所の伝聞は用いず】          |
| Ub2              | 新修石部町史 通史篇                | 『新修石部町史』編さん委員会/H1.3.31 石部町役場                                  |  | 【Ua11, Ub3にともづく記述】               |
| Ub3              | 御休泊口                      | 石部町歴史民俗資料館蔵   | Ua11と同じもの? 僅かな相違は翻刻時に入ったものか?                 | 石部宿                              |
| Ub4              | 志賀町史 第二巻                  | ○滋賀県/志賀町史編集委員会編/H11.3.31 志賀町発行                                |  | 北比良村(滋賀県大津市)                     |
| Ub5              | 今津町史 第二巻 近世               | ○滋賀県/今津町史編集委員会編/H11.3.31 今津町発行                                |  | 海津東浜・西浜, 酒波村, 今津村                |
| Ub6              | 岩本村寄合記録                   | ○福井県今立町/岩本区有文書  |  | 岩本村(福井県越前市)【広域の記載もあるが漠然としている】    |
| Ub7              | 日記                        | ○大野市中野/花倉家文書[松田一郎所蔵/福井県立公文書館建設準備室提供]                          |  | 中野村(福井県大野市)                      |



| 番号 <sup>1)</sup> | 史料名・文献名 <sup>2)</sup>          | 史料集が記す書誌情報 <sup>3)</sup>   | 本報の注釈   | 言及場所を表2に採用した所 <sup>4)</sup>                 |
|------------------|--------------------------------|--|---|---|
| Ub8              | 在所永代帳                          | ○福井県越前町/宿浦区有文書   |   | 越前町宿, 敦賀                                    |
| Ub9              | 御用日記                           | ○福井県上中町熊川/熊川区有文書/熊川公民館保管   |   | 熊川村(福井県三方上中郡若狭町)                            |
| Ub10             | 永代日記                           | ○福井県三方町田井/武長宗一家文書  |   | 田井村(福井県三方上中郡若狭町)                            |
| Ub11             | 当所珍事御触大飢饉仕法立書留日記               | ○小浜市/小浜市立図書館蔵 団嘉次家文書[文政二～明治五]                                    |   | 小浜  |
| Ub12             | 日用宝                            | 福井県名田庄村/吉岡徳右衛門家文書  |   | 名田庄村(福井県大飯郡おおい町)                            |
| Ub13             | 朽木主膳様 袖之鏡巻之巻                   | 吉田なみ原蔵/草津市史編さん室所蔵  | 近江八幡と周辺を領有する旗本朽木主膳守の側の記録か?                                | 八幡  |
| Ub14             | 田辺万代記                          | ○和歌山県田辺市/田辺市教育委員会編/1993.10.30 清水堂発行(第十四巻)                        |   | 田辺  |
| Ub15             | 中橋家日記                          | ○和歌山県伊都郡慈尊院村/史料館蔵G44 中橋家文書64                                     |   | 慈尊院村(和歌山県伊都郡九度山町)                           |
| Ub16             | 万代記録帳                          | ○岐阜県安八郡更屋敷村/史料館蔵蔵38X4 早崎家文書64                                    |   | 更屋敷村(岐阜県安八郡神戸町)                             |
| Ub17             | 専福寺諸事見聞雑記                      | 長岡市史編集委員会近世史部会/H5.3.25 長岡市発行/ (市史双書No.24)                        |   | 【京都での地震体験談だが、具体的新事実なし】                      |
| Uc1              | 北野天満宮史料 宮仕記録                   | ○京都市上京区北野/北野天満宮蔵、宮仕記録No.244                                      |   | 北野天満宮(京都市上京区北野)                             |
| Uc2              | 歳々日並記                          | ○大和国吉野郡飯貝村 林家記録/谷山正道天理大教授提供                                      |   | 飯貝村(奈良県吉野郡吉野町), 春日大社(奈良), 今井辺【他国の記事は用いず】    |
| Uc3              | 珍事録                            | ○名柄村(現御所市名柄)の庄屋(?)の記録/会報「いこま」創刊号(H15.3 古文書を読む会)所収                |   | 名柄村(奈良県御所市), 春日大社(奈良), 森脇村, 御所町             |
| Uc4              | 文政三年地震倒壊の本陣普請金拝借願              | 四日市市立博物館寄託 清水本陣文書(四日市市史第十巻 史料編 近世III ○四日市/清水本陣文書/H8.8.31 四日市市発行) |   | 四日市宿  |
| Uc5              | 文政三年 地震御普請御入用出来形帳 辰二月廿八日 山田村控へ | ○岐阜県美並村山田/史料館蔵 25G 長田家文書179                                      |   | 【S13の再掲、ただし、多少の異同あり】                        |
| Ud1              | (角)信筆日記                        | ○滋賀県蒲生町寺村/蒲生町史 第四巻 史料/蒲生町史編纂委員会編/H13.2.11 蒲生町発行                  |   | 【M13の再掲。ただし、廿二日の地震記事は新出】                    |
| Ud2              | 文政二年六月 下小房村より地震の被害届            | 桜川西区有文書(蒲生町史 第四巻 史料 ○滋賀県/蒲生町史編さん委員会編/H13.2.11 蒲生町発行)             |   | 下小房村(滋賀県東近江市)                               |
| Ud3              | 中村前全日記                         | ○彦根・平田町町代 中村尚氏所蔵/彦根城博物館寄託 B6b-447                                | 中村前全(みちやす)は彦根城下・平田町(現, 京町～錦町付近)の商家で町代                     | 彦根城下  |
| Ud4              | 実相院日記                          | ○京都市左京区岩倉上蔵町/実相院蔵  | 実相院は岩倉上蔵(あぐら)町にある単立寺院(元天台宗寺門派門跡寺院)。日記は江戸時代初期から260年間に及ぶ。   | 京都市・左京区岩倉上蔵町付近                              |
| Ud5              | 京都町触集成 第九巻                     | 京都町触研究会/1986.2.14 岩波書店発行   |   | 京都市・御所付近                                    |
| Ud6              | 年代記                            | 宮津市教育委員会/○宮津(宮津市史 史料編第三巻 宮津市史編さん委員会)                             |   | 宮津城下(京都府)                                   |
| Ud7              | 平野郷町惣会所日記                      | ○大阪市平野区平野宮町/杭全神社文書87/杭全神社蔵                                       | Sz7と基本的に同じもの  | 平野郷町(大阪市平野区)                                |
| Ud8              | 大念仏寺日鑑                         | (白雲閣)○大阪市平野区/大念仏寺蔵   |   | 平野郷町(大阪市平野区)                                |
| Ud9              | 地震破損の届(引接寺文書)                  | (八開村史 資料編二 ○愛知県海部郡/八開村史編さん委員会・八開村史調査編集委員会編/H8.3.28 八開村役場)        |   | 引接寺(塩田村)                                    |
| Ud10             | 三井傳左衛門家文書                      | ○愛知県武豊町(旧長尾村)上ゲ/武豊町歴史民俗資料館所蔵(注、年未詳、一応こゝに掲げる)                     |   | 【愛知県知多半島南部の村々に地震被害があれば申し出よという触廻状のみ】         |
| Ud11             | 多度町史 資料編2 近世                   | ○三重県/多度町教育委員会編/H16.3.1 多度町発行                                     |   | 法泉寺(香取村)                                    |
| Ud12             | 紀州田辺万代記 第14巻                   | ○和歌山県田辺市/田辺市教育委員会編/1993.10.30 清水堂出版発行                            |   | 【Ub14の再掲】                                   |
| N1               | 文政二己卯増補 年代記 第式                 |  | 熊野三山協議会・みくまの総合資料館研究委員会(1989)『熊野年代記』所収、熊野速玉大社(新宮市)の本願庵主の記録 | 熊野地方(新宮付近)                                  |
| N2               | 半日閑話                           |  | 大田南畝著・後人追補、『日本隨筆大成』第一期・第8巻(吉川弘文館, 1975, 2003)所収           | 【文政二年六月廿三日、美濃伊勢近江辺大地震、大垣余程崩れ人馬損じも有との風聞;不採用】 |

注 1)番号前の記号は以下の史料集に所収であることを示す。M:増訂大日本地震史料第三巻[武者(1943)] S:新収日本地震史料第四巻[東京大学地震研究所(1984)] Sh:新収日本地震史料補遺[東京大学地震研究所(1989)] Sz:新収日本地震史料続補遺[東京大学地震研究所(1993)] Ua:日本の歴史地震史料拾遺[宇佐美(1998)] Ub:日本の歴史地震史料拾遺二[宇佐美(2002)] Uc:日本の歴史地震史料拾遺三[宇佐美(2005)] Ud:日本の歴史地震史料拾遺四ノ上[宇佐美(2008)] N:本報で新たに追加する史料。

2) 史料集では、個々の史料の出典(市町村史など)を史料名の如くに掲げている場合があるが、本表では個々の史料を別個に掲げる。

3) /は改行を示す。[]内は各史料集巻末の「出典」の記事。【】内は本報の注。

4) 表2に用いなかった史料全体または言及地点に関しては、その理由を【】で示す。

表2 1819年文政近江地震の各地点ごとの地震動・被害等の状況  
 Table 2. Earthquake motion and damage at each point due to the 1819 Bunsei Ohmi earthquake.

| 地点        | 現在地名 <sup>1)</sup>     | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>3)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup> | 被害状況など <sup>3)</sup>   | 史料 <sup>4)</sup> | 備考                     |
|-----------|------------------------|------------------|------------------|----------------------|--|------------------|------------------------|
| 滋賀県       |                        |                  |                  |                      |  |                  |                        |
| 彦根城       | 彦根市                    |                  |                  |                      | 石垣崩1カ所13間2尺、同孕1カ所3間、土留石崩1カ所12間、同孕3カ所50.5間  | S11              |                        |
| 彦根城下      | 彦根市                    | 晴                | 未過刻              | 大地震                  | 白壁町(現、中央町付近)で潰家あり、長順寺前(長純寺なら佐和町)・京橋辺で地割。あちこちで家屋・土蔵損傷、負傷者もあり  | Ud3              |                        |
| 甘露寺村【甘呂村】 | 彦根市甘呂町                 |                  |                  |                      | 惣家数105軒程のうち70軒余潰   | M10              | 彦根藩領                   |
| 甘露寺村      | 彦根市甘呂町                 |                  |                  |                      | 彦根近辺にては甘露寺村殊の外強く八幡同様の由   | S20              | 甘呂村の誤記とみなす             |
| 福堂村       | 東近江市福堂町(神崎郡能登川町福堂)     |                  |                  | 大地震                  | 浦西堤切、二ヶ所築立   | M18              |                        |
| 伊庭村       | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  |                  |                      | 三ヶ寺大破損、即死1人。(村名失念)妙楽寺とかか申す湖水端の寺で召使女が揺落ちた釣鐘に打たれて死   | M10              |                        |
| 伊庭村       | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  |                  |                      | 妙楽寺倒ル、打撲傷ノ人30余人即死4人ト云  | M13              |                        |
| 伊庭村       | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  |                  |                      | 余程の荒、妙楽寺倒れ即死4人、怪我人余程、他に倒家もあり   | M17              |                        |
| 伊庭村       | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  | 八ツ時【平松】          | 大地震ゆる【平松】            | 妙楽寺本堂つぶれ、須田村嘉介一人死す   | M32              | 平松村は東近江市平松町(旧愛知郡湖東町平松) |
| 伊庭村       | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  |                  |                      | 妙楽寺本堂・法光寺・誓教寺が倒壊、淨福寺のみ残る   | Ua14             |                        |
| 能登川村      | 東近江市伊庭町(神崎郡能登川町伊庭)     |                  |                  |                      | 八まん・能登川辺大溝、須恵村別而大荒レ、家土蔵崩れる、  | Ua15             |                        |
| 五個荘       | 東近江市能登川町(神崎郡能登川町伊庭)    |                  | 未之下刻             |                      | 当村(地名不明)は左程の荒もなかつたが蔵ひび割れ・扉倒れ等あり、川・井戸が赤泥になつた。川並村・石馬寺村等は山からの落石が夥しく、市田村では酒屋1軒、小幡村では車屋が潰れた。                  | M17              |                        |
| 下大森村・大森神社 | 東近江市大森町(八日市市大森町)       |                  |                  |                      | 大森社地石鳥居倒ル  | M12              | 下大森村には旗本最上氏の陣屋があった     |
| 寺村        | 東近江市蒲生寺町(蒲生郡蒲生町寺)      |                  | 未之下刻             | 大地震                  | 角玄倫宅の土蔵が傾いた  | M13              | 角玄倫は名医で村内得照寺に墓碑があるという  |
| 下小房村      | 東近江市桜川西町(蒲生郡蒲生町桜川西)    |                  | 八ツ時              | 前代未聞の大地震             | 本家3軒壁落、土蔵2カ所・小家1軒容儀・川筋3カ所石垣崩、高土手6カ所大割、釣井戸8カ所石垣崩、右橋1落、他に少損は多数   | Ud2              |                        |
| 常楽寺村      | 近江八幡市安土町常楽寺(蒲生郡安土町常楽寺) |                  | 八ツ半時             |                      | 永照寺本堂が潰れた。ただし寺内に怪我人等はなかつた。   | Sz20             | 大和郡山藩領                 |
| 常楽寺村      | 近江八幡市安土町常楽寺(蒲生郡安土町常楽寺) |                  |                  |                      | 西性寺の表門が潰れた。  | Sz21             | 大和郡山藩領                 |
| 八幡        | 近江八幡市旧市街地(蒲生郡安土町常楽寺)   |                  |                  |                      | 66町の内、町並本家80軒程潰、60軒程半潰、300軒程大破損、添家・土蔵は数不知、即死10人程、怪我人数不知、家屋・物品等の損害額は約20万両余という風聞あり                         | M10              | 旗本・朽木主膳守知行所            |
| 八幡        | 近江八幡市旧市街地              |                  |                  | 大地震                  | 御役所の御屋敷は大荒れで過半潰れのように見えた。潰家41軒、半潰47軒、表土蔵8、裏付物置建物3、寺門2、鐘堂1潰れ、合計102、即死4人、慈恩寺町上町とは通行不能、少しの荒で半潰等の届出無いものは11町   | M14              | 旗本・朽木主膳守知行所            |
| 八幡        | 近江八幡市旧市街地              | 晴、掛物虫干致す         | 八ツ時              | 大地震                  | 本宅潰家82、半潰160、その他土蔵小屋等数不知、怪我即死5人、怪我人夥し、町内一同大破損、石灯籠皆倒る。社内寺内西などは静也。十六日御役所より家潰・半潰住居不能の者お召しにて御救米1俵より1斗5升迄下さる。 | S14              | 旗本・朽木主膳守知行所            |
| 八幡        | 近江八幡市旧市街地              |                  | 未の刻              |                      | 俄になる震出で大地の崩れるように音凄まじく住居は船が疾風に覆らんと人皆魂を失ったが暫時に鎮まった   | S15              | 旗本・朽木主膳守知行所            |

| 地 点   | 現在地名 <sup>1)</sup>          | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup>   | 被害状況など <sup>3)</sup>  | 史料 <sup>4)</sup>    | 備 考   |
|---|-----------------------------|------------------|------------------|--|---|---------------------|---|
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  | 八ツ時              | 大地震<br>廿二日 正九ツ時少々<br>の地震   | 家潰れ八幡町中凡千軒、在町死人凡6、怪我人凡300、自身番夜中替、十四日に陣屋から遺棄に御救米下さる、本潰1俵、半潰2斗  | SI7                 | 旗本・朽木主膳守知行所   |
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  | 未之下刻             | 誠ニ前代未聞、往古より聞伝へ<br>成、老若男女下二成、上二<br>成、なき渡り十方ニ暮候而氣失<br>ひ候も有、言語ニ難演次第               | 夥しい潰家、所々早鐘で火事々々と呼び、潰家の下の人が出ないとい<br>いって(中略)。自宅は座敷廻り不残割れ、戸障子不残外れ或いは折<br>れ、柱3本折れた。完全潰家80余軒、半潰170軒、土蔵大破数不知、大<br>破の家300軒ほど、死3人、怪我人数不知                              | SI8                 | 旗本・朽木主膳守知行所<br>左記に続けて「別而当所ハ甚敷、<br>最早近在ハ左程ニ無之候」と書<br>いている。 |
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  | 九ツ半時             | 西の方より動き始め、前代未聞<br>の大地震と相成り、しかし前後<br>地震の間短く                                     | 新町近より西は別して強、小幡町筋殊の外大潰み、大丸の向い扇<br>屋十兵衛殿居宅暫時に潰れ、大道へこげ、暫くは往来もできず、御<br>役所の御座敷内は別して大潰み、本潰家210軒余(住居できない<br>分)、半潰家500軒余(住居できるが壁落ち歪んで建具不自由の分)、<br>町中で即死4人、火気なき時分で火災なし | S20                 | 旗本・朽木主膳守知行所   |
| 東漸寺(蒲生郡林<br>村)  | 近江八幡市桜宮町                    |                  |                  |  | 本堂庫裏とも大破損、再建の手当として金五百疋を受ける  | S21                 | 林村は仙台藩領で東漸寺は伊達<br>家の菩提所                                   |
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  | 未之下刻             | 前代未聞の大地震、老若男女と<br>も下になり上になり、なき渡り、<br>或いは十方意気を失い候もあ<br>り、わずかに一程に足りぬ程の<br>間にて御座候 | 新町二丁目の森家は小被書で怪我人なし、全潰れの家柄は丸や平<br>兵衛他17軒、全潰れ80軒余、半潰れ160、170軒、土蔵浦み数不知、御<br>陣屋も御しらすこわれ申候   | Sz22                | 旗本・朽木主膳守知行所   |
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  | 未ノ半刻             | 大地震、最初乾ノ方【北西】よ<br>りゆり出し、次第に激しく相成<br>り、ビシビシと寅卯之間【東北<br>東】におこり                   | 【被害状況が詳述されているが】即座に潰れた家140軒余、半潰れ<br>370軒余、即死者20人以上、怪我人は多数、寺院8倒壊  | Sz25                | 旗本・朽木主膳守知行所   |
| 八幡  | 近江八幡市旧市街地                   |                  |                  | 大地震、百年此方無之由  | 私宅も大分損じ八幡へ大損し陣屋も損し申候、これに依り見舞と<br>して御頭へ銀壹匁八ト【下略】   | Ub13                | 日付を「廿一日」と誤記してい<br>るが、知行主の記録                               |
| 武佐宿   | 近江八幡市武佐町                    |                  |                  |  | 江州武佐ノ宿大潰れ申し候  | Sh10                | 武佐は中山道の宿場(京から4番<br>目)                                     |
| 中山道宿並   | 草津市～米原市のどこか                 |                  |                  |  | (近江国)の中山道宿並その他村々とも3、4軒づつの潰家いづれも<br>有  | M10                 | 滋賀県内の中山道宿場は葛津、守<br>山、武佐、愛知川、高宮、鳥居本、番<br>場                 |
| 鏡村  | 蒲生郡竜王町鏡                     |                  | 未ノ刻              | 先代覚え聞かざる大地震  | 板垣新堤ずり切れ、同隣り埋まる、【近隣の数村にも被害あった<br>模様】  | Sz24                | 仁正寺藩領   |
| 鏡村  | 蒲生郡竜王町鏡                     |                  | 未ノ刻              | 大地震  | 板垣堤、雨なくして堤切る、板垣街道の橋崩れる、<br>八まん、能登川辺大潰、須恵村別而大荒し、家土蔵崩れる、<br>堤25間(約45m)崩1カ所、但し人馬怪我なし   | Ua15<br>Ua15<br>M11 | 仁正寺藩領<br>旗本柳沢領と仁正寺藩領の相給<br>宮津藩松平信吾守領分、八月十日<br>付幕府への届      |
| 山中村   | 蒲生郡竜王町山中                    |                  |                  |  | 家数50軒程のところ建具立て引き可能な家は3軒、他は大破損、潰<br>家3軒  | M10                 | 山中村は滋賀県に5村あるが、こ<br>こに比定する。旗本関領、安政六<br>年(1859)の家数49        |
| 仁正寺   | 蒲生郡日野町西大路                   |                  | 未ノ刻過             |  | 私居所並びに家中侍長屋少々ずつ破損、人馬怪我等なし   | M11                 | 仁正寺藩・市橋氏(陣屋は西大路)<br>からの御届                                 |
| 蒲生郡【小口村<br>(相給)、馬淵村<br>(五分給)、葛巻村<br>(相給)、中在寺<br>村、小野村、庄<br>村】 | 蒲生郡日野町・竜王町、近<br>江八幡市、東近江市西部 |                  |                  |  | 田畑7畝(約700m <sup>2</sup> )砂入、堤600間余(1km強)割割1カ所、百姓家所々<br>破損、3軒半潰、寺門1潰、但し人馬怪我なし  | M11                 | 宮津藩松平信吾守領分、八月十日<br>付幕府への届                                 |
| 蒲生郡   | 蒲生郡日野町・竜王町、近<br>江八幡市、東近江市西部 |                  |                  |  | 江州地震、我が采邑【領地】蒲生郡壊家数十、死者十余人あり【具<br>体的な場所等の詳細は不明】   | M40                 | 仙台藩は近江蒲生郡に18村約9千<br>石の飛び地を領有していた(他に<br>野洲郡に2村)            |
| 蒲生郡   | 蒲生郡日野町・竜王町、近<br>江八幡市、東近江市西部 |                  |                  |  | 江州地震、采邑蒲生郡壊家数十、死亡十数人、仙台に於いて七七忌<br>辰法会を修す【具体的な場所等の詳細は不明】   | Sz33                | 仙台藩は近江蒲生郡に18村約9千<br>石の飛び地を領有していた(他に<br>野洲郡に2村)            |
| 守山村(守山・下<br>ノ郷)   | 守山市守山町・下之郷町                 |                  |                  |  | 百姓家および郷藏所々壁割破損、但し人馬怪我なし   | M11                 | 宮津藩松平信吾守領分、八月十日<br>付幕府への届                                 |

| 地点                     | 所在地名 <sup>1)</sup>         | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup> | 被害状況など <sup>3)</sup>   | 史料 <sup>4)</sup> | 備考                                  |
|------------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------|--|------------------|-------------------------------------|
| 六地藏村                   | 栗東市六地藏<br>(栗太郡栗東町六地藏)      |                  | 未下刻              |                      | 当村の人家多く破損、山手沙川損  | M16              | 葉山村は明治以降の村名。福正寺が正しい                 |
| 石部宿                    | 湖南市石部<br>(甲賀郡石部町石部)        |                  | 八ツ時              |                      | 両本陣はじめ宿内の建物が一度に大損じ、地面が2、3寸ずり口明き、所々に水わき出る、深さ1丈2、3寸(3m余)の所もあった、平野町から西の8町は格別のこともなかったが、東町3町は誠に甚だしく家々残らず大荒、 | la11             |                                     |
| 下田村                    | 湖南市下田周辺<br>(甲賀郡甲西町下田周辺)    |                  |                  |                      | 潰家5軒、堤崩1カ所50間(約90m)、砂入田地少々、人馬怪我等なし   | M11              | 水口藩・加藤能登守(通称孫太郎)からの御届               |
| 柑子袋村・針村                | 湖南市柑子袋・針<br>(甲賀郡甲西町柑子袋・針)  |                  |                  |                      | 大破損  | M16              | 福正寺ではないか?                           |
| 水口城・城下                 | 甲賀市水口町本丸周辺<br>(甲賀郡水口町本丸周辺) |                  | 未下刻              | 地震強                  | 本丸櫓・渡櫓の屋根他破損、堀3カ所崩、石垣1カ所崩、住居土塚11カ所崩、侍屋敷・長屋堀等所々破損、人馬怪我等なし   | M11              | 水口藩・加藤能登守(通称孫太郎)からの御届               |
| 泉村                     | 甲賀市水口町泉周辺<br>(甲賀郡水口町泉周辺)   |                  |                  |                      | 潰米蔵1カ所、人馬怪我等なし   | M11              | 水口藩・加藤能登守(通称孫太郎)からの御届               |
| 今宿村                    | 甲賀市土山町大野<br>(甲賀郡土山町大野)     |                  |                  |                      | 高札場倒壊損、但し人馬怪我等なし   | M11              | 宮津藩松平伯耆守領分、八月十日付幕府への届               |
| 徳居村【徳原村の誤記とみなす】        | 甲賀市土山町徳原<br>(甲賀郡土山町徳原)     |                  |                  |                      | 往還百姓家所々破損、1軒潰、但し人馬怪我等なし  | M11              | 宮津藩松平伯耆守領分、八月十日付幕府への届               |
| 甲賀郡【「加(マ)元郡」は誤記と判断される】 |                            |                  |                  |                      | 溜池堤崩、その他堤破損、但し人馬怪我等なし  | M11              | 宮津藩松平伯耆守領分、八月十日付幕府への届               |
| 海津東浜西浜                 | 高島市マキノ町海津<br>(高島郡マキノ町海津)   |                  |                  |                      | 土蔵の壁落20軒ほど、寺院の門・鐘楼のいざりや人家の崩落下あり  | M15              | Sz13によれば『西浜区有文書』に基づくとらしい            |
| 海津東浜                   | 高島市マキノ町海津<br>(高島郡マキノ町海津)   |                  |                  |                      | 土蔵が崩れ落ちたり、寺院の鐘楼が移動する被害が出た  | Ub5              | Ub5は「海津」を「梅津」と誤記している                |
| 酒波村                    | 高島市今津町酒波<br>(高島郡今津町酒波)     |                  |                  |                      | 西林2反(2000m2弱)ばかり並木11本共にづれになり、下宮鳥居1尺ばかり位置を變ず。   | M15              | 高島郡志は高島郡教育会編(1927)、伊藤・他(1986)により補筆  |
| 酒波村                    | 高島市今津町酒波<br>(高島郡今津町酒波)     |                  |                  |                      | 西林では並木が倒れ、津野神社の鳥居は1尺ばかり位置を變えた  | Ub5              |                                     |
| 今津村                    | 高島市今津町今津付近<br>(高島郡今津町今津)   |                  |                  |                      | 土蔵の壁の落ちないものはなかった、曹澤寺が大破  | M15              | 高島郡志は高島郡教育会編(1927)                  |
| 今津村                    | 高島市今津町今津付近<br>(高島郡今津町今津)   |                  |                  |                      | 曹澤寺が大破するなど大きな被害  | Ub5              |                                     |
| 蕨園村                    | 高島市新旭町蕨園<br>(高島郡新旭町蕨園)     |                  |                  |                      | 二三軒の家屋が倒壊  | Sz14             | 蕨園区有文書によるという                        |
| 北船木村                   | 高島市安曇川町北船木<br>(高島郡安曇川町北船木) |                  | 八ツ時              | 大地志んにて村中一統さわわざし候えども  | 怪我人はないが、惣蔵ばかり大損じで甚だ迷惑、しかし潰家はなし。寺は、光明寺は無難、勝専寺・願船寺は本堂の内壁皆落ち、勝専寺の門柱いざざる。                                  | Ub1              |                                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 分部米吉殿在所大溝村、屋敷並びに家中居宅町屋共大損にて八幡よりは格別まさる由   | M10              |                                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 地列水湧き大損す   | M13              |                                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | (高島郡の中で)被害最も甚だしく、土蔵倒れ潰家あり、寺院は本堂・門等大破し、家中町屋損ぜざるなし   | M15              | 高島郡志は高島郡教育会編(1927)、大溝は分部(わけべ)氏2万石の城 |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 【八幡の惨状の記述に続けて】西江州大溝当所ト同様二御座候段  | S18              |                                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 家中家14、5軒類る   | Sh23             |                                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 南市本町だけで16軒から倒壊・半壊の被害届が出された   | Sz14             | 福井芳郎家保管文書によるという                     |
| 大溝                     | 高島市勝野<br>(高島郡高島町勝野)        |                  |                  |                      | 【八幡の惨状の詳述に続けて】西江州大ミぞと申処ハ、当所同様之よし承り申候   | Sz25             |                                     |

| 地 点      | 現在地名 <sup>1)</sup>        | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup> | 被害状況など <sup>4)</sup>   | 史料 <sup>5)</sup> | 備 考   |
|----------|---------------------------|------------------|------------------|----------------------|--|------------------|---|
| 北比良村     | 大津市北比良<br>(滋賀郡志賀町北比良)     |                  |                  |                      | 郷蔵1カ所半壊、猪除垣損壊  | Ub4              | 北比良区有文書「御願書記録」によるという                                      |
| 本堅田村     | 大津市本堅田                    |                  | 八ツ時              | 大地震ゆり                | 祥瑞寺の【欠字】・開山塔ろう・中門・寿宣寺庫裏・妙盛寺庫裏・複教の蔵他が倒れ、祥瑞寺方丈ゆがむ。石灯籠、高屏多敷倒れ、壁等も多く破損。不用心につき三昧の間町々で立番。周辺村々にも被害があったよう役所が届を命じている。   | Sz27             | 堅田藩領(祥瑞寺領少し)  |
| 膳所       | 大津市膳所周辺                   |                  |                  |                      | 家五十軒倒人九十人死ス  | Sh12             | Sh12の伝聞記事は誤記多く、これも疑わしい                                    |
| 琵琶湖      |                           |                  |                  |                      | 湖水船凡そ300余艘難船の噂   | S61              |   |
| ●三重県     |                           |                  |                  |                      |  |                  |   |
| 伊勢国桑名郡   |                           |                  |                  |                      | 「美濃国中嶋・海西・安八・多芸郡」の欄を見よ。  |                  |   |
| 多度村      | 桑名市多度町多度<br>(桑名郡多度町多度)    |                  |                  |                      | 多度辺懸渡の由  | S8               |   |
| 香取村      | 桑名市多度町香取<br>(桑名郡多度町香取)    |                  |                  |                      | 40軒程家建、委ク微塵ニ相崩   | M11              | 六月十九日勢州・和泉屋甚兵衛から江戸への知らせ(確度やや疑問)、香取村は桑名藩領                  |
| 香取村      | 桑名市多度町香取<br>(桑名郡多度町香取)    |                  |                  |                      | 二ツの御寺二十八字の家居みなたふれて、ぬりごめ小家ハかすをもしらず、さりながら死たる人疵つきたる人としてハひとりもあらざりき   | M22              | 随筆なので正確さは疑問   |
| 常音寺(香取村) | 桑名市多度町香取135<br>(桑名郡多度町香取) |                  |                  |                      | 香取元割にあり 当寺は(中略)文政二年六月の大地震による倒壊等数度の祝融の災に罹り、建造物はもとより古記録の類悉く灰燼に帰して由緒詳かでない。  | S27              | 常音寺は、薩摩藩の宝暦治水(1754-55)の殉難者5名の墓所として著名。それが倒壊したのは他に記録があるのでは？ |
| 法泉寺(香取村) | 桑名市多度町香取180<br>(桑名郡多度町香取) |                  |                  |                      | 法泉寺の鐘楼堂・中門・書院・高蔵下が潰れ、本堂の瓦が3尺余(約1m)南にかしいだ。人は別状なし。   | Ud11             |   |
| 桑名       | 桑名市                       |                  | 未刻過              |                      | 城内外破損所多し、領分村々で人家・土蔵等の潰れ、溜池堤等の震り下げ、川堤防の決壊、田畑浸水あり【村々は特定できない】   | M11              | 桑名藩主・松平下総守から六月廿日幕府へ届                                      |
| 木管岬町     | 桑名郡木管岬町                   |                  |                  |                      | 大地震 堤崩壊(長高細布による)   | S25              | 『長高細布(さいみ)』は伯黄堂宗庵による享保十五年(1730)自序の地誌。本地震を記すとしたら後人の加筆か？ 曖昧 |
| 四日市宿     | 四日市市                      | 晴                | 未中刻八ツ過           |                      | 北條町の印田邸の石灯籠残らず倒れ、損傷したのもかなり。屋根も余程歪んだが、他にはさしたることなし。北條町は他にも少々損じたが、代官に届けるほどではなかった。中町辺・川原町・西町で土蔵の瓦が落ちたもの大分あり、地中から泥水吹き出し地上3.4尺も上がった。常徳寺(元新町)・光源寺(中部)・蓮生寺(元新町)・江戸屋(第二本陣)の門が倒れ、光運寺(中部)の長屏が残らず壊れた。西町で借家倒れ3人死。御瀧川(三滝川)の堤が立割に倒れ損じた。四日市陣屋(北町の中部西小学校付近)の御殿が余程崩れた。 | M28              |   |
| 四日市宿     | 四日市市                      |                  |                  |                      | 清水本陣の書院等の建物が倒れた。但し老朽していた。建替のため津藩の役所に百両の拜借を願いだした。   | Uc4              |   |
| 亥子新田     | 四日市市午起                    |                  |                  |                      | 少々損じた所があった(耕地が?)   | M28              |   |
| 神戸城      | 鈴鹿市神戸本多町                  |                  | 申ノ上刻             | 大地震                  | 二重櫓・一重櫓所々壁落、大手門西方高屏残らず堀へ落倒、同東方高屏破損、西大手高屏破損、城内住居他所々破損、侍屋敷・町々所々破損、城下任運飯橋損1カ所、人馬怪我等なし   | M11              | 神戸藩主本多伊予守から六月廿四日幕府へ届                                      |
| 神戸周辺     | 鈴鹿市神戸周辺                   |                  |                  |                      | 鈴鹿川筋で堤損壊22カ所、用水高損壊2カ所、東海道ひび割れ3カ所・土橋損壊3カ所・板橋損壊1カ所、漬家倒木・人馬怪我等なし  | M11              | 神戸藩主本多伊予守から六月廿四日幕府へ届                                      |
| 神戸       | 鈴鹿市神戸                     |                  | 申刻               | 大地震                  | 御城大手右方堀崩れ堀へ落、二重櫓壁落、土橋飯橋通ひひ割れ、馬通路なし、  | S84              | 高野家の十日市町は現在の鈴鹿市神戸二丁目                                      |
| 石薬師・庄野間  | 鈴鹿市                       |                  |                  |                      | 伊勢路石薬師庄野間高崎村と申す所損所あり、一日往来留まる   | S58              | 高崎村は見当たらず、付近には高宮村がある                                      |
| 津        | 津市                        |                  |                  |                      | 藤堂家菩提寺・寒松院(寿町)の座敷が破損し、翌日の藩主の参詣延期。八幡町(八幡町津)の町家4軒が地震のために次第に傾き、文政四年二月に改築費の拜借を出願、ついで蔵町(大町)の10軒も同様  | S29              | 寒松院(市内寿町) 八幡町(やわたちよう；津市八幡町津) 蔵町(くらまち；津市大町)                |

| 地 点                    | 現在地名 <sup>1)</sup>             | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup>   | 被害状況など <sup>3)</sup>   | 史料 <sup>4)</sup> | 備 考  |
|------------------------|--------------------------------|------------------|------------------|--|--|------------------|--|
| 上野                     | 伊賀市上野                          |                  | 未半刻頃             | 地震強  | 武家屋敷大破1、稽古場大破1、武家屋敷塀損壊1  | S40              |  |
| 松阪                     | 松阪市                            | 天晴               | 申上刻              | 地震強  | 所々壁損じ石灯籠等倒る  | S31              |  |
| 山田                     | 伊勢市宮後～岩瀨周辺                     |                  | 八ツ時              | この度【1854年伊賀上野地震】の如く数日に及ばず、ただ一度のみなり   | 春木宅にて会読中、彼家の長屋崩れ、その外家々破損多し   | M4               |  |
| 山田                     | 伊勢市宮後～岩瀨周辺                     | 晴                | 昼ハツ過             | 近年の大地震なり   | 宮中別荘なし、大せ古、一ノ木、国元【岡本か?】、田中、川崎辺、家・土蔵等ここかしこ破損のよし   | S33              | 大世古、一之木・岡本・田中中世古・川崎は山田22町内の5町【伊藤・他(1986)】                    |
| 山田                     | 伊勢市宮後～岩瀨周辺                     | 晴                | 八半時              | 大地震  | 御宮御安全、但し御田の西石積少し崩れる、御役所別荘なし。山田町は家土蔵・屋根瓦壁等、所々崩れる  | S36              |  |
| 伊勢神宮辺                  | 伊勢市                            |                  |                  |  | 伊勢大神宮辺、地震泥濁る   | S80              | 伝聞(外宮か内宮か不明)   |
| ●岐阜県                   |                                |                  |                  |  |  |                  |  |
| 美濃国中嶋・海西・安八・多芸郡、伊勢国桑名郡 |                                |                  |                  |  |  |                  |  |
| 桑名在金曲【金廻の誤り?】          | 海津市海津町金廻<br>(海津郡海津町金廻)         |                  |                  |  | 百姓家多数震潰れ、破損等夥しく、田畑は勿論川除堤等悉く震割。就中安八、海西・桑名郡は即死・怪我人夥しく、田畑・堤は2、3～4、5尺も震割れ、特に過去の決壊修復箇所は悉く掛下り決壊同様、震割れた田畑は泥水吹き出す。地震は陣屋南西に当たり勢州多度山方面から北方にかけて特に烈しく、高次【須?】輪中・勢州金廻七郷輪中ほか、この方角の桑名領が殊にひどいと聞く。 | M4               | 金廻村は近世は伊勢国桑名郡。皆受寺は岐阜県海津市海津町金廻9に現存。「一向宗」は江戸幕府が浄土真宗の公式名称として強要。 |
| 北伊勢、油嶋のうち金廻村           | 海津市海津町金廻<br>(海津郡海津町金廻)         |                  |                  |  | 本願寺宗の皆受寺で法談中、初座と後座の間に地震、堂崩れ天井落ちて70余人即死、負傷300余人とぞ   | M10              | 尾張町人から江戸へ来信(伊藤・他(1986)の「公儀への報告」はおかしい)。当村は幕府領。                |
| 笠松御願今廻村【金廻村の誤記とみなす】    | 海津市海津町金廻<br>(海津郡海津町金廻)         |                  |                  |  | 法談中の浄土宗皆受寺が、また新しい寺だが崩れ、500人程の参詣人のうち30人余が即死、半死半生多数、僧8人のうち客僧1人即死。  | M11              | 六月十九日勢州・和泉甚兵衛から江戸への知らせ。不正確である。                               |
| 金廻村                    | 海津市海津町金廻<br>(海津郡海津町金廻)         |                  |                  |  | 法談中の海寿寺御願に崩れ、近隣からの聴聞者数万のうち即死75人、怪我人数しれず  | M11              |  |
| 金廻村                    | 海津市海津町金廻<br>(海津郡海津町金廻)         |                  |                  |  | 皆受寺(一向宗)で客僧の法談中、休止時に地震起こり堂崩れて一両日後の死者46人。多度辺惣潰れの由。  | S8               |  |
| 高須輪中                   | 海津市海津町・平田町<br>(海津郡海津町・平田町)     |                  |                  |  | 御法会御座候処、御堂つぶれ、数多人死有之、前代未聞事   | Sh13             |  |
| 高須町                    | 海津市海津町高須町<br>(海津郡海津町高須町)       |                  | 未三刻頃             | 大じしん   | 堤防破壊せるもの多し、依って高須加納領とも公儀普請あり、翌年三月成る   | M23              |  |
| 幡長村・野市場村・野寺村・者結村       | 海津市平田町幡長・蛇池・野寺・者結<br>(海津郡平田町～) |                  |                  |  | 当所も大そんなし仕候、つぶれ家三四軒、人死一兩人御座候、   | Sh13             |  |
| 堀津村                    | 羽島市堀津町付近                       |                  |                  |  | 長良川堤に被害があり、幕府が差配する復旧工事が行われた  | Sh11             | 高須輪中内、者結村は旗本日根野氏領だが、他の3村は幕府領                                 |
| 須賀村                    | 羽島市正木町須賀付近                     |                  |                  |  | 堤穴所3、減下り4、割下3  | S74              | 長良川東岸の桑原輪中内、旗本平岡領  |
| 笠松陣屋                   | 羽島郡笠松町泉町                       | 快晴、堪えがたいほどの暑気    | 未ノ中刻頃            | 未刻頃より地鳴震動致し不審之空合ニ候処未ノ中刻頃ニ至リ南方より北方江かけ震動烈敷暫時之間ニ候得共引続四五度も烈敷震立候故家屋より逃出候猶余も無之尤逃出候而茂歩行難成 | 堤穴所4、減下り3、崩所1、震下3<br>陣屋周辺は潰家や怪我人はないが、住居は悉く大破した。  | S74              | 美濃郡代・松下内匠から幕府への届。第一報らしく、不正確で誇大かもしれない。                        |
| 大垣                     | 大垣市                            |                  | 八ツ半時             | 【「震動時間長し」とあるが典拠不明】   | 船見御番所倒壊・櫓・多門・土蔵の類ごとごとく裂罅を生ず、川溝などの水皆岸上へ打上げ、堤防崩壊せし所もあり   | M26              |  |

| 地 点               | 現在地名 <sup>1)</sup>       | 天候 <sup>2)</sup>  | 時刻 <sup>2)</sup>    | 地震動の様子 <sup>3)</sup>   | 被害状況など <sup>3)</sup>  | 史料 <sup>4)</sup> | 備 考  |
|-------------------|--------------------------|---|---------------------|--|---|------------------|--|
| 打上村               | 大垣市上石津町打上<br>(養老郡上石津町打上) |   | 八ツ時                 | 激震   | 壁壊れ、家屋倒るものあり(時村円光寺記録)   | S76              | 時村は明治以降の村名。円光寺は打上村にあり  |
| 蛇持村               | 養老郡養老町蛇持                 |   | 八時半時                | 大地震  | 山も崩れ大川迄泥水に成る。家も倒れ御堤迄大破致候  | S77              | 蛇持村は尾張藩領なので、記事は藩域全般のことかもしれない                                       |
| 更屋敷村              | 安八郡神戸町更屋敷                |   | 昼ハツとセツの間<br>少しハツへ近し | 百年以来の大地震   | 何方も土蔵壁落ち、或いは壁ひびり割れ、屋根瓦落ち、山辺は石岩落ち山崩れ、人死にも余程あった   | Ub16             | 大垣藩領   |
| 山田村・小屋名村<br>(小築村) | 関市山田・津保川台、関市小屋名          |   |                     |  | 長良川の支流・津保川の堤・堰が地震被害を受けて、普請が行われた。  | Sl2              | 山田村は美濃郡代・松下氏支配下、小築村は幕府領と旗本池田領の二給                                   |
| 東野村               | 恵那市東野                    |   | 昼ハツとセツノ頃<br>(ハツ三分)  | 地震半時程ゆり、六七十年二寛無し<br>大地震なり  |   | Sh12             |  |
| 久保原村              | 恵那市山岡町久保原<br>(恵那郡山岡町久保原) |   | ハツ時                 |  |   | Sz11             |  |
| 田瀬村               | 中津川市田瀬<br>(恵那郡福岡町田瀬)     |   | 昼八下刻                | 地震   | 当村方向事もなし、その他近郷何事もなし   | Sz10             |  |
| 赤岐島村              | 郡上市白鳥町赤岐島<br>(郡上市白鳥町赤岐島) |   |                     | 大ジシク久敷間ユル  | 被害記事なし  | S79              |  |
| 高山                | 高山市                      |   | 夕七ツ時                | 大地震  | 元禄16年より147年目、しかし元禄のぼうが余程強く、一之町上で戸板を町の中に出した由   | M33              |  |
| <b>●愛知県</b>       |                          |   |                     |  |   |                  |  |
| 葉栗郡               | 一宮市木曾川町周辺<br>(葉栗郡木曾川町周辺) |   |                     |  | 諸所損ず  | S6               |  |
| 犬山                | 犬山市                      |   | 未中刻頃                | 地震強く   | 郭所破損つかまつり候、もともと馬騷我等御座なく候  | M11              | 犬山藩主、成瀬隼人正からの届   |
| 塩田村               | 愛西市塩田町<br>(海部郡八開村塩田)     |   |                     |  | 引接寺(いんじょうじ)：本堂六間四間、台所長さ八間横三間半、破損  | ld9              | 引接寺は愛知県愛西市塩田町砂山19  |
| 立田村               | 愛西市立田町周辺<br>(海部郡立田村)     |   |                     |  | 立田輪中中で大川【木曾川】40間ほど(約70m)震り崩れ、輪中に浸水、この復旧費用だけで約1万両とか  | M11              | 尾張町人から江戸へ来信(伊藤・他(1986)の「公儀への報告」はおかしい)                              |
| 海東・海西             | 愛西市佐屋町付近<br>(海部郡佐屋町付近)   |   |                     |  | 海東輪中と海西輪中の間の「水分中隔御堤」が破損した   | Sl0              | 現在地は伊藤・他(1986)による  |
| 名古屋               | 名古屋市中区大須2丁目              | 晴天にて少し<br>ずつ散雲あり、<br>風も余程あり、<br>昼頃より丑寅<br>の方にて雷遠<br>く聞ゆ | 未の刻                 | 未の刻に地震振出し、初めは左もなかりしが、長々揺りて次第に強く、堅町は破損少く横丁は大荒、是は地震は北より起こるもので南北に揺るといふ説(に合致)。 | 破損多き所と左もなき所あり、京町通りは軒の庇等落ち家多し。但し何方も土蔵の壁ひびり、名古屋中で蔵に疵つかぬは無し。古家・仮小屋等は却って別状なし、地震は土蔵の堅き物には当たり強く、仮小屋等は却って別状なし、地震は土蔵の堅き物には当たり強く、仮小屋等は却って別状なし。諸所の崩損せしが、高塀は損じ少く練塀は崩れ多し。何方も酒屋の酒蔵の桶ゆりこぼれ、酒屋の藍瓶溢る。小間物屋の白粉箱は悉く棚から落ちしが、茶碗屋・瀬戸物店は損失少し。石灯籠や寺の石塔は大分転びしが転ばぬ所もあり。 | M10              |  |
| 名古屋               | 名古屋市中区栄3-35-30           |   |                     |  | 北の練塀大きく崩れ、落ちた壁土小山の如し、この辺他には破損なし。  | M10              |  |
| 名古屋               | 名古屋市中区大須2丁目              |   |                     |  | 三重塔が大きく揺れて非常に危うく見えしたが少しも破損しなかつた   | M10              | 稲園山正覚院長福寺  |
| 名古屋               | 名古屋市中区門前町1-23            |   |                     |  | 惣門の南側が倒れ、馬繋ぎにもたれかかった  | M10              | 本願寺名古屋別院   |
| 名古屋               | 名古屋市中区大須町18-6            |   |                     |  | 高塀崩れ、南の東門前の築地崩れる  | M10              |  |
| 名古屋               | 名古屋市中区東区2丁目              |   |                     |  | 惣門倒れる、宝蔵等も大破損   | M10              | 「法花寺町のうち」とあるが法華寺町か?  |
| 名古屋               | 名古屋市昭和区八事本町78            |   |                     |  | 大塔は損ぜし沙汰ありしが瓦少し破損の由さしたる事なしとぞ  | M10              | 興正寺の五重塔  |
| 名古屋               | 名古屋市中区大須2丁目              |   | ハツ半頃                | 私共これ迄覚えざる大地震   | 大分破損所あり、建中寺門・霊屋余程傾き、石灯籠約300倒れ、相鷹で石塔・石灯籠200程、(名古屋城)本丸石垣20間程(約36m)崩れ、隅槽ひび割れあり、若宮築地所々100間程(約180m)、他に寺院の石塔高塀崩所多数、定徳寺門崩れを食2人即死、山田・下飯田の井戸は悉く泥水に変ず、樽の落下・藍瓶からの流出・茶碗屋の損失など多数、土蔵崩落による即死あり、武家屋敷の高塀・土蔵崩所多数、   | M11              | 尾張町人から江戸へ来信(伊藤・他(1986)の「公儀への報告」としているのは不適切。速報であり、誇大な風聞も混じっている可能性あり。 |

| 地点          | 現在地名 <sup>1)</sup> | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震の様子 <sup>3)</sup>  | 被害状況など <sup>3)</sup>  | 史料 <sup>4)</sup> | 備考  |
|-------------|--------------------|------------------|------------------|--|---|------------------|---|
| 名古屋         | 名古屋市               |                  | 昼八時半頃            | 大地震、木々の蝉鳴止、水溜等の水ゆり出し小便瓶の小便ゆり出す。これ程の地震は170年目程の由、先年本町大手石垣壊れたときは是程ではなかった由 | 瓦庇等多く落ち、石塔石灯籠多く転ぶ。常徳寺の門転び、西懸所尖来門倒れ、若宮北築地大崩れ、城下じゅう土蔵始め損所限りなし、壁・鴨居落ち大木折れ物騒、西辺程強し。 | S8               |   |
| 熱田社         | 名古屋市熱田区神宮          |                  |                  | かかる大地震といへども熱田の宮中のみかゆゆらず  | 此時参詣し有し人々々々地震を知らず、町へ出てより初めて驚きしかや、其に一奇事といふべし。                                    | M10              |   |
| 熱田社         | 名古屋市熱田区神宮          |                  |                  | 熱田社内は少しも地震ゆり申さず、   | 田に居た百姓達が東門に走り込んだところ、禰宜達は一向地震らしい感覚がなかったたので何事かと尋ねた。石灯籠も一つも損じなかった。                 | M11              | 尾張町人から江戸へ来信(伊藤・他(1986)が「公儀への報告」としているのは不適切)。 |
| 熱田社         | 名古屋市熱田区神宮          |                  |                  | 熱田宮地のみ地震なく参詣の人は知らずと云う、一奇事也   |   | S8               |   |
| 鳴海村         | 名古屋市緑区鳴海町          |                  | 八ツ半の頃            | 誠に珍しき大地震   | 蔵酒などもこぼれ申す  | Sz30             |   |
| 村のうち        | 知多市八幡              |                  | 八ツ頃              | 大地震、五、六拾年に覚えぬ地震なり  |   | Sz29             |   |
| 田原          | 田原市田原町<br>(渥美郡田原町) | 快晴               | 申刻               | 地震   |   | S35              |   |
| <b>●京都府</b> |                    |                  |                  |  |   |                  |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未刻ばかり            | 地震甚し、よって直ちに御機嫌伺のため参院、人々参集、少時退出   |   | M1               |   |
| 京都          | 京都市                | 晴天               | 未半刻              | 大地震  | 所々崩れあり、土蔵高崩れびびり入り多し、御所の築地角々皆びびり入り、邸宅の棟瓦落下、東西方向が甚だし                              | S56              |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未刻過              | 大地震暫く止まず、同下刻ばかり止む  | 小屋壊れた由、山【比叡山か?】少々崩れた所もあり  | S57              |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未半刻ばかり           | 五、六十年なかつた大地震   | 居所別状なく大慶なり  | S60              |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未半刻ばかり           | 地震甚動也、手桶水半分程も散り候也  | 所々蔵大輪【台輪】落ち高崩こけ石灯籠こけた由、祇園4本、北野2本。当社【神社不明】無事、神前通り板橋小損、回廊塀2カ所棟崩れ、                 | S61              |   |
| 京都・松尾神社     | 京都市西京区嵐山宮町         |                  |                  | 大地震半時斗之間不堪、近來之過也   |   | S64              |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未半刻              | 地震頗る強し   | 隣家と境の高崩倒  | S65              |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 八時半頃             | 地震京師二十年來之事と云う  | 寺町四条下る所の地面裂く、土蔵2カ所開く、棚より落下あり、東の方強く磁器店大いに損じた由【京都からの書面】                           | S80              |   |
| 京都          | 京都市                | 快晴暑熱頗る甚し         | 未下刻許             | 大地震、室屋鳴動頗る甚し、暫くして休、侍女家僕等皆色を失う、七旬有るの者も未曾如此事                             | 当文文庫北面の軒頗る崩落、苔また甚し。所々築地等崩れ、家の鳴居落下頗る多し。  | Sh14             |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 昼八ツ半時            | 大地震  | 邸内・知人宅で石灯籠が何本も倒れ、破損もあり。手水鉢の水溢れ、棚上の貴重品が落ちて破損。                                    | Sh15             |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未刻過              | 夥しき地震なり  | 諸方の瓦屋・築地など損ず。御殿北の御土蔵壁、兼ねて大損じあるところ、地震で落下。  | Sh16             |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未半刻              | 大地震、五、六十年來覚えないう位   |   | Sh17             |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未刻後              | 大地震一度、七十年來の大地震なり   | 高橋若狭守入來地震尋問なり   | Sh18             |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未半刻ばかり           | 大地震  | 之に依り伝奉【伝奉の誤り?】・評定参集   | Sh19             |   |
| 京都          | 京都市                | 晴天               | 未半刻頃             | 頗る地震   | 所々土蔵・築地等破損、この方土蔵・築地少々破損   | Sh20             |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未下刻              | 地震頗る甚し、周章無為  | 棚上の物顛倒、文庫の大輪【台輪】崩落、其外は無事、他家に損所多く、土塀顛倒あるいは土蔵破損。古老曰く近世これ程の事を知らず、但し宝暦元年度は是の如くか。    | Sh21             |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 未の刻過             | 大地震、未申の方(南西)より揺り出し、よほど長き間ゆり  | 石灯籠の倒れ、土蔵の破損、障の倒れ等が多かつた。家屋破損もあり   | Sh23             |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未刻頃              | 夥しき地震  | 寺社の石塔、所々の高崩は申すに及ばず、所により土蔵等砕く。   | Sz22             |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未一刻              | 大地震ゆる、是まで覚えのない大ゆり長く  | 所々土蔵・高崩・石灯籠破損   | Sz3              |   |
| 京都          | 京都市                | 晴                | 未ノ刻半             | 地震強し   |   | Sz4              |   |
| 京都・知恩院      | 京都市東山区林下町          | 晴盛暑、十三日卯晴強暑      | 未半刻前             | 大地震兄小四半時の間   | 御忌新蔵の台輪の一部崩落、高石垣幅2間余大崩落、瓦・壁等少々破損、御神殿・尊牌殿は別状なし                                   | Ua1              |   |
| 京都          | 京都市                |                  | 申上刻              | 近年未開の大地震   | 御内別状なし  | Ua3              | 随心院内のことかどうか不明                               |
| 京都・北野天満宮    | 京都市上京区北野           | 晴                | 昼八ツ半頃            | 地震甚だし  | 社内灯籠倒れ三の宝珠落下が多かつた   | Uc1              |   |



| 地点                | 現在地名 <sup>1)</sup>        | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup>  | 地震の様子 <sup>3)</sup>                                    | 被害状況など <sup>3)</sup>   | 史料 <sup>4)</sup> | 備考                                 |
|-------------------|---------------------------|------------------|-------------------|--|--|------------------|------------------------------------|
| 京都・実相院<br>京都・御所付近 | 京都市左京区岩倉上蔵町<br>京都市上京区京都御苑 | 晴                | 未半刻               | 地震七八十ノ者も不覚と云々  | 御旧地出納預り蔵と修理職預り蔵(場所不明)所々破損、凝華洞(ぎょうかどう、御所建礼門の南の屋敷)の御膳米蔵と高塚所々破損、園院宮(御苑南西端)の表門、四つ脚門、筋塀・練塀・筋瓦葺破損<br>破損の由              | Ud4<br>Ud5       |                                    |
| 淀城<br>宮津          | 京都市伏見区淀本町<br>京都府宮津市       |                  | 夕方七時より<br>ひるハツ半時分 | 大地震ゆり実に近年地震なり<br>大地震                                   |  | S5<br>Sh24       |                                    |
| 宮津城下              | 京都府宮津市                    |                  |                   |  | 統治屋町天神山(場所不明)よりか治屋町・本町・魚屋町(大手川西側の市街地)海まで1、2寸程(約3~6cm)地割、淡蔵町(場所不明)の家5、6軒、白柏町(しらかせまち; 現、白柏)の家1軒潰れ、惣町(宮津駅東南方)で屋根石落下 | Ud6              |                                    |
| 算所村               | 与謝郡与謝野町算所<br>(与謝郡加悦町算所)   |                  |                   | 大地震  | 口(上方)方々甚敷候、夫より日夜打続き大豊年なり   | Sz5              | 後年の筆記かもしれない、月の間違<br>いあり            |
| <b>●奈良県</b>       |                           |                  |                   |  |  |                  |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       |                  | 申ノ上刻              | 大地震近代未聞之事一統驚入  | 一山石灯籠不残倒、当家表長屋東西壁落、当地にて(土蔵)10軒余倒、春日社石灯籠凡八分倒由破損モアリ  | S42              |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       | 晴                | 申刻前               | 大地震  | 一乗院の御殿内が所々小破損、築地などの小破損あり   | S43              | 一乗院は近鉄奈良駅の北東にあつた門跡寺院、興福寺の塔頭の<br>一つ |
| 奈良中筋町             | 奈良市中筋町                    |                  |                   |  | 塀倒4、瓦落2、蔵壁落2、石灯籠倒33など  | S44              | 中筋町年寄・弥七が役人に届けた<br>控(中筋町は近鉄奈良駅の北側) |
| 奈良町               | 奈良市中心部                    |                  | 未之半刻              | 戌亥の方(北西)より震った、揺ること凡そ1尺ほど、80歳の人に尋ねてもこのよのような地震は記憶にないとのこと | 石灯籠が残らずこけ、壁落ちはどの家にもあり。春日社の石灯籠は大半こけた。男女は生死を案じ、外へ逃げ、井戸へはまり、怪我人もあり。   | S46              |                                    |
| 奈良東向北町            | 奈良市東向北町                   |                  |                   |  | 壁損4、瓦落1、石灯籠倒れ25、壁損少々、怪我等なし   | S47              |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       |                  |                   |  | 南部【都か?】春日灯(籠脱力)数2800ほかりこけ、町に千本ほか破け候も2千本ほど  | S48              |                                    |
| 奈良町               | 奈良市                       |                  | 申上刻頃より            | 大地震、乾の方(北西)より震りだし暫時にて治まる、百年余この方の地震と老人言う                | 御役所向並びに半屋敷など小破損、町々で家屋倒壊・死者あり、春日社の灯籠800余倒れ、元興寺(市内芝新屋町)の塔に登っていた旅人45人が前悪の報いと勘違いした                                   | S52              |                                    |
| 奈良町               | 奈良市                       |                  | 未ノ刻過              | 大地震、80歳ばかりの人に尋ねても一向知らないほど                              | 中林家(場所不明)は格別の損害ないが、土蔵の北壁落ち、泉水の水過半揺り出した   | S53              |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       |                  |                   |  | 南都はひとしお激しく春日石灯籠7、8分どおり倒れた由   | S58              |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       |                  |                   |  | 南都同様にて当地(大坂)より強いくらい、春日石灯籠など8、9分通り倒れ、当地向店からのもの倒れた   | S59              |                                    |
| 奈良・春日大社           | 奈良市春日野町                   |                  |                   |  | 当国も北ほどは激しく、南都春日社石灯籠七分通り倒れ崩れ申し候   | Uc2              |                                    |
| 奈良                | 奈良市                       |                  |                   |  | 春日の社御改の所、石灯籠600本倒れ、町々所持の灯籠こられた600本に余りけり  | Uc3              |                                    |
| 奈良・薬師寺            | 奈良市西ノ京町                   |                  | ハツ時少し過頃           | 大いに地震いたし   | 軒先に出してあつた講堂三尊の脇士が、(軒が?)崩れて御首が落ちた。東塔丸輪少し損じ、門少しづつゆがみ、塀所々倒れた。   | Ua6              |                                    |
| 荒崎村               | 天理市荒崎町                    |                  | ハツ時               | 大じんゆり  | 郷蔵半ばこけ、宮之観音堂北の壁落、菓師堂もゆがみ、そのほか壁落、塀こけ数多  | S48              |                                    |
| 長谷寺               | 桜井市初瀬                     |                  | 昼八つ半過・正七つ時        | 大地震、五拾年已後の地震の様承り                                       | 山内所々地面崩れた  | Ua5              |                                    |
| 上品寺村              | 福原市上品寺町                   |                  | ハツ時               | 大地震、野方にいた者は立っていられない程の揺れ                                |  | Sh28             |                                    |
| 藤井村               | 宇陀市大字陀区藤井<br>(宇陀郡大字陀町藤井)  |                  |                   | 老人も存じない大地震   | この辺格別損じもなし   |                  |                                    |
| 名柄村               | 御所市名柄                     |                  |                   |  | 名柄村で家1軒倒る、この時何方にても紺屋は藍番より藍を盛りこぼすこと夥しく、当村・森脇・御所等の染屋、庭より表へ藍流れ出仰山に見え申候  | Uc3              |                                    |
| 森脇村               | 御所市森脇                     |                  |                   |  |  |                  |                                    |
| 御所町               | 御所市御所                     |                  |                   |  |  |                  |                                    |
| 飯貝村               | 吉野郡吉野町飯貝                  |                  | 七ツ時               | 大地震暫く止まず驚入り候   | 南ほどは軽く、この辺が一致軽く候様子に相聞え申し候  | Uc2              |                                    |
| 今井辺               | 【市町村不明】                   |                  |                   |  | 今井辺にてとも土蔵2、3ヶ所も崩れ申し候   | Uc2              |                                    |
| <b>●大阪府</b>       |                           |                  |                   |  |  |                  |                                    |
| 津田村               | 枚方市津田                     |                  | ハツ頃               | 大地震、百年この方ない由で前代未聞のこと                                   |  | Sh26             |                                    |

| 地点            | 現在地名 <sup>1)</sup>      | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup>                       | 被害状況など <sup>4)</sup>  | 史料 <sup>5)</sup>  | 備考                              |
|---------------|-------------------------|------------------|------------------|--|---|-------------------|---------------------------------|
| 志目野村(点野村)     | 寝屋川市                    |                  |                  |  | 堤崩れる  | S5                |                                 |
| 切川村(喜里川村)・客坊村 | 東大阪市喜里川町(付近・客坊町付近)      |                  | 八ツ半時             | 近来覚えなほいほどの地震                               | 両村は別状なしと役所に届けた  | S70               | 両村は生駒山地西麓の扇状地上にある               |
| 大坂            | 大阪市                     |                  | 八ツ半時頃            | 地震激しく揺り候事                                  | 所々破損家・土蔵数々、石灯笼倒れ数々、住吉大社の石灯笼数々倒れ   | S5                |                                 |
| 大坂            | 大阪市                     |                  | 未刻過              | 大地震  | 藤堂藩大坂屋敷大破 ?   | S40               |                                 |
| 大坂            | 大阪市                     |                  | 八ツ半時             | 7、80年以前より無いほどの地震                           | 水書の記所で石灯笼1倒れたほか店内別状なし、所々石灯笼倒れ高さ破壊所等数カ所あり  | S58               | 伊藤・他(1986)は京都のこととしているが大坂だろう     |
| 大坂            | 大阪市                     |                  | 未の下刻             | 大地震にて七八十年の老人の覚えぬほど                         | 古土蔵の台輪落ち、石灯笼倒れ、宮々鳥居ゆがみ、寺々石塔塔等崩し、町家用水桶の水は道に溢れ、工事場等では怪我人死人もある噂。住吉大社の石灯笼は、小は40基ほど、大は2、3基倒れた由。          | S59               |                                 |
| 大坂            | 大阪市                     |                  | 八時               | 大地震  | 地震の筋の有物にや、所によりて不同有、加島屋久右衛門本宅の在原寺という名物の石灯笼倒れ火袋裂けた  | S69               |                                 |
| 平野郷町          | 大阪市平野区平野                |                  | 未半刻(未ノ中刻)        | 大地震  | 七町のうち野堂町で居宅の壁や桶の落下、麻の一部破壊、土蔵の壁落下などが20軒弱、願正寺の小門倒る。西根町で長玉寺の石灯笼2本崩れ、居宅の二階落下・壁落下あり、他に小破損。馬場町・泥堂町は家破損なし。 | Sz6<br>Sz7<br>Ud7 | 両史料は基本的に同一                      |
| 池田            | 大阪府池田市                  | 晴天               | 未五刻              | 大地震、五十年之間覚えざ                               | 銅壺の湯が震りこぼれた。他家で石灯笼の崩れ損じあり   | S67               | 大念仏寺は平野郷町の馬場町(現在、大阪府平野区平野上町)に所在 |
| 池田            | 大阪府池田市                  | 天ギ也              | 八ツ過帰ル也、然ルニ地震ユル   | 先々近比ニ無之大地しん也                               | 記事なし  | S68               | 稲東家は市内綾羽1丁目                     |
| 地蔵陣屋          | 豊能郡能勢町地蔵                |                  |                  |  | 石垣10間ばかり崩れる   | S67               | 伊居天神社は市内綾羽2丁目                   |
| <b>●和歌山県</b>  |                         |                  |                  |  |   |                   |                                 |
| 慈尊院村          | 伊都郡九度山町慈尊院              |                  | 七ツ前              | 大地震  |   | Ub15              |                                 |
| 北志野村          | 紀の川市北志野(那賀郡粉河町北志野)      |                  | 八ツ半時             | 大地震、(畑で)殊の外揺り、目まいのようだった。但し鉾を突っ張っていてもこけるほど。 |   | Sz12              |                                 |
| 田辺            | 田辺市                     | 晴天               | 晝八ツ時             | 大地震、近年及ばざる事                                |   | Ub14              |                                 |
| 新宮付近          | 新宮市                     |                  | 晝八時              |  | 所々石垣土蔵等崩ス少シノ内   | N1                |                                 |
| <b>●福井県</b>   |                         |                  |                  |  |   |                   |                                 |
| 熊川村           | 三方上中郡若狹町熊川(遠敷郡上中町熊川)    |                  |                  |  | 三左衛門の土蔵が大破した【他の被害は不明】   | Ub9               |                                 |
| 田井村           | 三方上中郡若狹町田井(三方郡三方町田井)    |                  | 八ツ時              | 大地震  | 所々家潰れ倉痛み【田井のことかどうか不明】、手前新田も一面に2寸ばかり揺りこむ   | Ub10              |                                 |
| 小浜            | 小浜市                     |                  | 申刻               | 大地震  | 若州小浜辺も余程荒れ候由  | M10               |                                 |
| 小浜            | 小浜市                     |                  | 未下刻              | 近年無之大地震                                    | 城内格別のことはないが瓦の落ちた家が諸々あり。作事屋より会所までの道割れ、泥が吹出した所もあり。  | Sh7               |                                 |
| 小浜            | 小浜市                     |                  | 晝八ツ半時            | 大地震  | す先町川先町御家中所々地面三五寸程割ル。土橋阿詰割候二付、十四日山往来ニ難義。   | Sh8               |                                 |
| 名田庄村          | 大飯郡おおい町名田庄○(遠敷郡名田庄村)    |                  |                  | 大地震  | 所々方々土蔵の壁割れ、家々破損おびだし   | Ub11<br>Ub12      |                                 |
| 敦賀            | 敦賀市                     |                  |                  |  | 越州敦賀も荒れ候由   | M10               |                                 |
| 敦賀            | 敦賀市                     |                  |                  |  | 敦賀表は大破にて家なども早々潰れ候由  | Ub8               |                                 |
| 宿浦(越前町)岩本村    | 丹生郡越前町宿越前市岩本町(今立郡今立町岩本) |                  | 晝八ツ時七ツ前          | 大地震にて村中大騒<br>大地震                           | 当地何の障りもなし   | Ub8<br>Ub6        |                                 |
| 鯖江            | 鯖江市                     |                  | 八ツ半過             | 地震甚だしく                                     | 寺の壇上の仏像皆転び落ちるほど、家の損壊もあり   | S80               |                                 |
| 中野村           | 大野市中野                   |                  | 八ツ時              | 大地震  |   | Ub7               |                                 |
| <b>●兵庫県</b>   |                         |                  |                  |  |   |                   |                                 |
| 尾ヶ崎           | 尾崎市                     |                  |                  |  | 釣鐘震鳴  | S67               |                                 |

| 地 点             | 現在地名 <sup>1)</sup>    | 天候 <sup>2)</sup> | 時刻 <sup>2)</sup> | 地震動の様子 <sup>3)</sup>   | 被害状況など <sup>3)</sup>  | 史料 <sup>4)</sup> | 備 考                |
|-----------------|-----------------------|------------------|------------------|--|---|------------------|--------------------|
| 姫路              | 姫路市                   | 晴                | 昼八半時過            |  | 余程の地震   | Sh27             |                    |
| 篠山              | 篠山市                   |                  |                  |  | 丹州笹山辺大石山よりこけ落つ  | S67              | 篠山とみなす             |
| 出石              | 豊岡市出石町<br>(出石郡出石町)    |                  | 八ツ時少過            | 余程の地震  | 土蔵倒れ、土蔵の壁落ちひび入り多数、座敷の壁にひび入りもあり  | S81              |                    |
| 出石              | 豊岡市出石町                | 快晴               | 八ツ時過             | 地震強く候につき左京はじめ一統西御殿へまかり出で   | 御城御対面所清弓御屋敷等別荘なし、町方の家屋等に格別の破損はないが、土蔵等には所々破損あり                                   | Sz1              |                    |
| 豊岡              | 豊岡市                   |                  | 昼八半時             | 珍しき大地震いたし  | 来迎寺【市内中央町】の高麗倒る   | S82              |                    |
| 豊岡              | 豊岡市                   | 大暑               | 八ツ時過             | 近來珍しい大地震、是迄一向覚ええず子供妻なども外へ出す程   | 格別破損もないが、来迎寺高麗などは十間ばかり倒れた   | Sz28             |                    |
| <b>●石川県・富山県</b> |                       |                  |                  |  |   |                  |                    |
| 小松              | 石川県小松市                |                  |                  | やや強い地震があったが、被害はあまりなかった   |   | S86              | 典拠不明               |
| 金沢              | 石川県金沢市                | 快晴               | 八半時少過            | 強い地震   | 年寄達が進々登城して御機嫌伺いが行われた  | M38              |                    |
| 金沢              | 石川県金沢市                | 快晴               | 八時半過             | 地震良久(やややむさし)、近來にない地震   | 中町で藍瓶から藍が掃りこぼれ、堤町辺は屋根石が落下、大ひ口では小家1軒潰れ、松月寺も天水桶の水こぼれ生花の瓶の水かえる、しかし鶴村毛では滴々たる生花の水溢れす | S80              |                    |
| 金沢              | 石川県金沢市                |                  | 夕八半時過            | 強地震  | 【城内の御機嫌同等の慌ただしさが記されている】   | Sh5              |                    |
| 野尻村             | 石川県野尻町<br>(富山県砺波市野尻)  |                  | 昼八半時前            | 大地震より少し少地震なり   |   | Sh4              |                    |
| 正得村             | 富山県小矢部市石動町            |                  |                  | 大地震  |   | S87              |                    |
| 富山              | 富山県富山市                |                  |                  | 地震   |   | S88              |                    |
|                 | 富山                    |                  |                  | 富山も強き由   |   | S80              |                    |
| <b>●長野県以東</b>   |                       |                  |                  |  |   |                  |                    |
| 阿智村             | 長野県下伊那郡阿智村            |                  | 八ツ時の末            |  | 石塔三分どおり倒れ申し候  | Sh10             |                    |
| 飯田              | 長野県飯田市                | 快晴、暑気増々甚し        |                  | (庭に居た時)地震大いに振い、初めは何か変事が起きたと想像する内に、居宅大いに動き樹木も左右へ靡きける故にぞ地震なりと思ふ内、寺子供二階より走り下り噪ぎける。夜來また震ふ樹に宿せる鴉噪き振行けり。 |   | S90              |                    |
| 座光寺村(飯田)        | 長野県飯田市座光寺             | 終日晴              | 八ツ時              | 大地震  |   | M34              |                    |
| 座光寺村(飯田)        | 長野県飯田市座光寺             | 晴、暑気あり           | 八ツ半              | 大地震  |   | Sh9              |                    |
| 赤須村・上穂村         | 長野県駒ヶ根市赤穂上穂町          |                  |                  | 地震あり   |   | M35              |                    |
| 甲府              | 山梨県甲府市                | 天気               |                  | 大地震  |   | S89              |                    |
| 江戸              | 東京都                   |                  | 夕方               | 長地震ゆり候へども、さしたる事なし  |   | M11              |                    |
| 江戸              | 東京都                   |                  |                  | 江戸は誠に少斗の地震にて、予も縁側に居たりしに、ただ一つゆらゆらとしたる斗にて、地震にやと思ひし斗也。  |   | S3               |                    |
| 江戸              | 東京都                   |                  |                  | 少し地震   |   | S80              | 江戸からの便り            |
| 江戸              | 東京都                   | 天晴               | 未下刻              | 地震動  |   | S91              |                    |
| 坂戸              | 埼玉県坂戸市赤尾              | 天気               | 八ツ時分             | 地震致し大  |   | Sh3              |                    |
| <b>●兵庫より西</b>   |                       |                  |                  |  |   |                  |                    |
| 鳥取              | 鳥取県鳥取市                |                  | 未刻               | 地震強く動揺す  |   | M39              |                    |
| 大社町             | 鳥取県出雲市大社町             |                  | 八ツ時              | 地震あり、近來の大震なり、夜分の大地震よりはほそし、たばこ二ふくの間ほど震ふ   |   | lla18            |                    |
| 広島              | 広島県広島市                | 雨                | 未刻               | 地震   |   | M36              |                    |
| 広島              | 広島県広島市                |                  |                  | 地震   |   | S29              |                    |
| 広島              | 広島県広島市                |                  | 夕                | 地震   |   | Sh30             |                    |
| 小松              | 愛媛県西条市小松町<br>(周桑郡小松町) | 晴、夕雷雨            |                  | 地震   |   | S85              |                    |
| 小松              | 愛媛県西条市小松町             | 晴、夕雷雨白雨          | 七つ前              | 地震   |   | Sh31             | 藩庁の小松陣屋は小松町新屋敷にあった |
| 高知              | 高知県高知市                |                  | 未下刻              | 去月十三日の地震よりは強くして長し  |   | S92              |                    |

注：1) 括弧内は「平成六合併」前。2) 同時代史料によるもののみ。3) 記述は、(ほま)原文どおりと、意訳・要約とが混在している(本文参照)。4) 表に対応。なお【】内は本報の注。